

平成26年度  
秋田県スポーツ少年団アンケート  
報告書



公益財団法人秋田県体育協会 秋田県スポーツ少年団

# 目 次

I	はじめに	1
II	調査の概要	2
III	結果の要約	3
IV	調査結果	8
V	考 察	31
VI	まとめ	33
VII	おわりに	34
VIII	資 料	
	1 アンケート実施要項	35
	2 調査票	36

## I はじめに

---

秋田県スポーツ少年団は、昭和38年に創設され、平成25年度に創設50周年を迎えた本県最大の青少年団体である。創設当初の団数はわずか22団であったが、現在では、県内全市町村に市町村スポーツ少年団が設置され、平成26年度登録状況は、団数832団、団員数17,873人で、全小学生の38%が登録するまでに拡大している。本県の指導者及び団員の登録率は、常に全国トップクラスを誇り、このことは50年の長きにわたる秋田県スポーツ少年団の営為の成果といえる。

しかし、近年、急激に進展する少子化の影響により、スポーツ少年団の機能や活動の継続が困難な状況も指摘されており、今後、各単位団の活動に大きな影響が及ぶことが想定される。

そこで、秋田県スポーツ少年団では、新たな50年のスタートとなる今年度、本県スポーツ少年団の活動実態等を明らかにし、秋田県スポーツ少年団の将来像の検討に資するため、本アンケート調査を実施した。

## Ⅱ 調査の概要

---

### 1 調査の目的

急激な少子高齢化が進む中、県内各地のスポーツ少年団指導者・団員・保護者を対象に、その活動実態を把握することによって、本県の今後のスポーツ少年団活動の基盤強化及び活性化を図る方策の検討に資する。

なお、結果の分析考察に当たっては、平成18年度調査結果と比較検討する。

### 2 調査対象

県内の単位団から抽出された指導者500人、団員1,000人、保護者500人

### 3 回収結果

(1) 指導者	有効回収数	293人(58.6%)
(2) 団員	有効回収数	673人(67.3%)
(3) 保護者	有効回収数	347人(69.4%)

### 4 調査方法

各市町村スポーツ少年団本部を通じてアンケート用紙を抽出者に送付し、郵送回収。

### 5 調査期間

平成26年10月～11月

### 6 調査内容

- (1) 居住市町村、性別、年齢、スポーツ種目、スポーツ観等の基本事項について
- (2) 各单位団の形態、活動時間、活動日数、対外試合数等について
- (3) スポーツ少年団活動の課題等について
- (4) 暴力行為について
- (5) 秋田県スポーツ少年団の諸規程、研修会等の認知度について

### 7 調査主体

秋田県スポーツ少年団広報普及部会

### Ⅲ 結果の要約

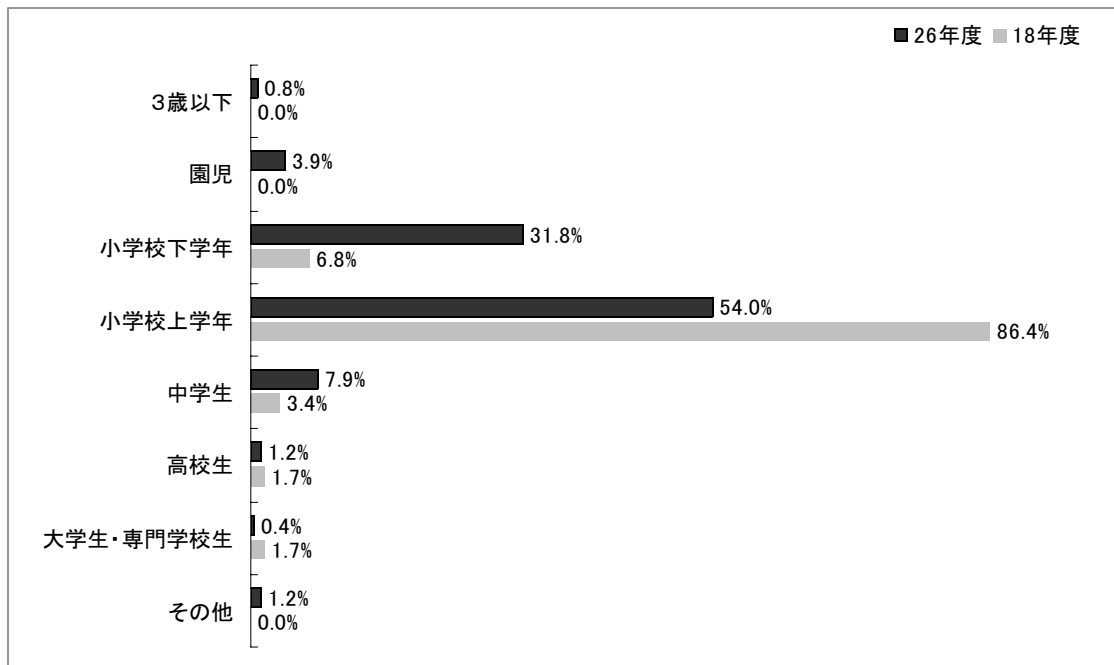
#### 1 進む団員の低年齢化

指導者に指導の対象を聞くと、「小学校上学年」（54.0%）、「小学校下学年」（31.8%）の順だった。18年度調査と比較すると「小学校下学年」の割合が25.0ポイント増えている。一方、「小学校上学年」の割合は、32.4ポイント減っている。

「小学校下学年」の内訳を見ると、ミニバスが23.0%、野球が15.0%、バレーボール・剣道が10.6%を占めている。

**⇒団員の低年齢化が、特にミニバス、野球、バレーボール等のチームスポーツの団で顕著に進んでいる。**

#### Q 指導の対象は？（複数回答）



#### 2 対外試合数の増加

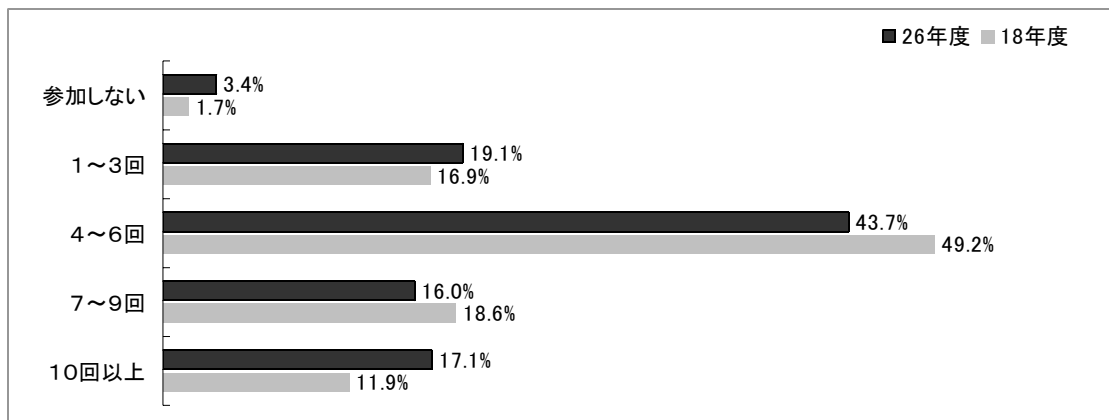
指導者に対外試合参加数を聞くと、「年間の大会参加数」は、「4～6回」（43.7%）、「1～3回」（19.1%）、「10回以上」（17.1%）の順だった。

一方、「練習試合の参加数」は、「1～5回」（24.2%）、「21回以上」（22.5%）の順だった。18年度調査と比較すると「21回以上」の割合が、12.3ポイント増えている。「1～5回」は、9.7ポイント減っている。「21回以上」参加の団の内訳を見ると、ミニバスが55.6%、野球が34.7%を占めている。

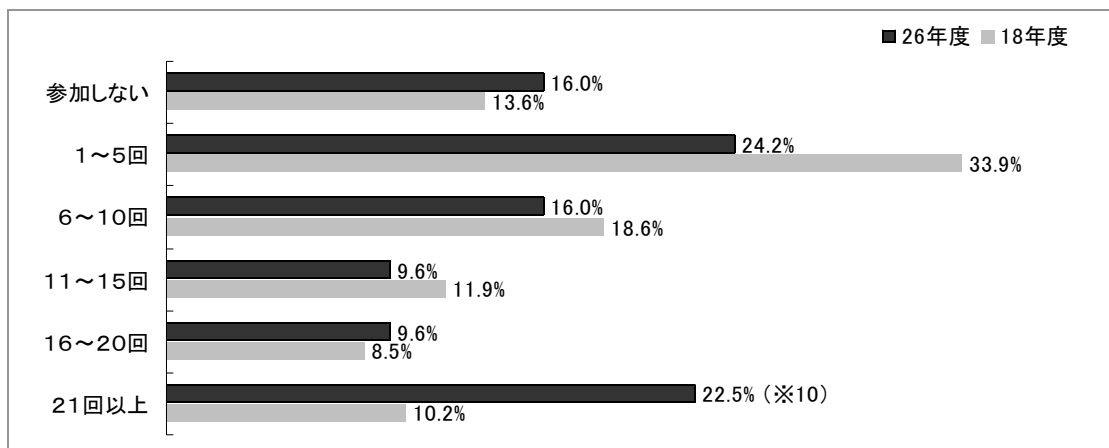
26年度の「大会参加数」は、18年度とさほど変わっていなかったが、「練習試合の参加数」は、明らかに増えている。

**⇒練習試合の参加数が、特に、ミニバス、野球で増えている。**

Q 年間の大会参加数は？



Q 年間の練習試合数は？



### 3 悩みを抱える指導者・保護者、そして、団員

指導者に「困っていることや課題」を聞いてみると、「入団者の減少」（25.8%）、「指導者の不足」（14.3%）、「施設・設備の確保」（8.3%）、「自分の仕事が忙しい」（7.8%）の順だった。「入団者の減少」は、18年度調査と比べて8.0ポイント増えている。

保護者に「困っていること」を聞いてみると、「ある」が7.8ポイント増えている。内訳を見ると、「送迎の負担」が22.4%、「帰宅時間が遅い」が11.4%、「経費がかかりすぎる」が9.5%を占めている。この中で、「帰宅時間が遅い」は、18年度調査と比べて5.6ポイント増えている。

団員に「いやだと感じるときがあるか」を聞いてみると、「ある」が7.8ポイント増えている。内訳を見ると、「試合に負けたとき」が13.2%、「なかなか上手にならない」が10.5%、「疲れる」が10.3%、「指導者に叱られたとき」が9.3%、「遊びの時間が無い」が8.6%を占めている。この中で、「疲れる」は、18年度調査と比べて、4.7ポイント増えている。

⇒指導者は「団員の減少」、保護者は「送迎の負担」、団員は「疲れる」などの悩みを抱えている。

Q 〈指導者〉指導上の課題は？

回答	18年度	26年度
入団者の減少	17.8%	25.8%
指導者の不足	15.1%	14.3%
施設・設備の確保	8.1%	8.3%
自分の仕事が忙しい	11.9%	7.8%
指導者の負担軽減	9.2%	5.5%
ほかのスポ少との関連	3.8%	5.4%
中学校・高校の部活動との関連	3.2%	4.5%
保護者の無理解	3.2%	4.0%
指導者の高齢化	—	3.9%
保護者の期待が過熱	4.9%	3.8%
活動予算の不足	4.9%	3.7%
指導者の指導不足	3.8%	3.5%
児童・生徒の素行面	2.2%	2.1%
児童・生徒の塾や習い事との関連	4.3%	1.9%
指導者間の人間関係	3.2%	1.9%
学校の無理解	2.2%	1.7%
指導者の意識の加熱	0.5%	1.3%

Q 〈保護者〉困っていることは？

回答	18年度	26年度
送迎などの親の負担が大きい	23.3%	22.4%
帰宅時間が遅い	5.8%	11.4%
経費がかかりすぎる	8.7%	9.5%
試合数が多すぎる	3.9%	7.6%
練習や試合が多すぎて子供が疲れている	7.8%	6.8%
指導者がワンマンだ	5.8%	6.5%
家庭で過ごす時間が少なくなった	7.8%	6.1%
レギュラー重視の指導内容だ	4.9%	4.9%
勝つことにこだわりすぎ	6.8%	4.2%
スポーツに熱中しすぎて勉強がおろそかになる	6.8%	3.8%
保護者の飲食が多い	4.9%	3.4%
活動時間が長い	1.9%	3.0%
スポ少と塾や習い事の兼ね合いがうまくいかない	2.9%	2.7%
指導者の暴言や暴力がある	1.9%	2.7%
学校(教員)の理解がない	2.9%	2.7%
勉強が忙しすぎてスポーツ活動が十分にできない	1.9%	1.1%
子供の行動が粗野になった	0.0%	0.8%
いじめがあるようだ	1.9%	0.4%
子供がスポーツ障害(傷害)になった	0.0%	0.0%

Q 〈団員〉いやだと感じるときは？

回答	18年度	26年度
試合に負けたとき	15.9%	13.2%
なかなかじょうずにならない	14.8%	10.5%
疲れる	5.7%	10.3%
指導者にしかられたとき	3.4%	9.3%
遊びの時間がない	5.7%	8.6%
勉強の時間がない	4.5%	5.4%
家に帰る時間が遅い	6.8%	5.1%
いじめがある	2.3%	4.6%
友達と仲良くやれない	2.3%	4.6%
指導者がえこひいきする	3.4%	3.9%
楽しくない	3.4%	3.4%
勝つことにこだわりすぎる	4.5%	2.9%
関節や筋肉が痛い	3.4%	2.9%
練習時間が長い	5.7%	2.7%
指導者がこわい	0.0%	2.7%
練習時間が短い	3.4%	2.4%
レギュラーになれない	4.5%	1.0%
練習がきびしすぎる	0.0%	1.0%
指導者が暴力をふるう	0.0%	0.7%

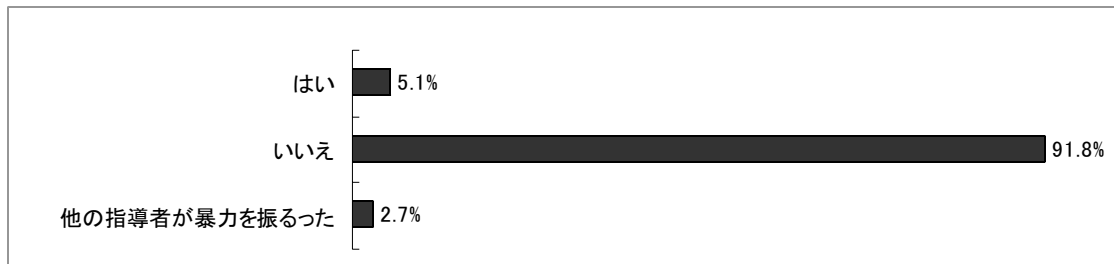
#### 4 わずかに見られるスポーツ活動中の暴力行為

18年度調査にはなかったが、今回、新たに「スポーツ活動中の暴力行為」の設問を設けた。「暴力行為を行った」「他の指導者が行った」と答えた指導者は、7.8%、「暴力行為を受けた」「他の団員が受けた」と答えた団員は、4.6%、「暴力行為を受けた」と答えた保護者は、2.3%だった。

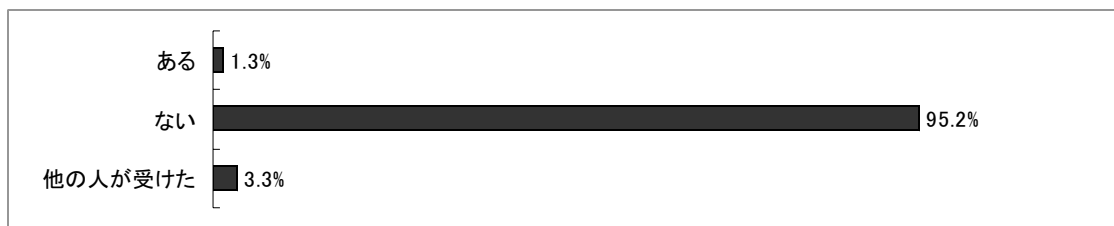
⇒スポーツ活動中の暴力行為は、完全には消えていない。



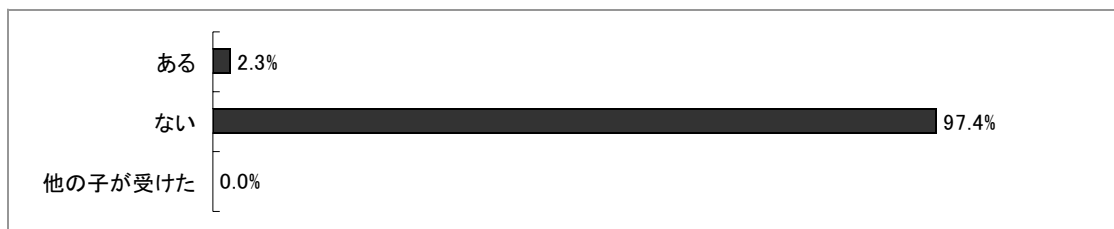
Q 〈指導者〉あなたはスポーツ活動中に暴力を振るったことがあるか？



Q 〈団員〉あなたは指導者から暴力を受けたことがあるか？



Q 〈保護者〉あなたのお子さんはスポーツ活動中に暴力を受けたことがあるか？



## 5 低い諸規程の認知度、研修事業への参加率

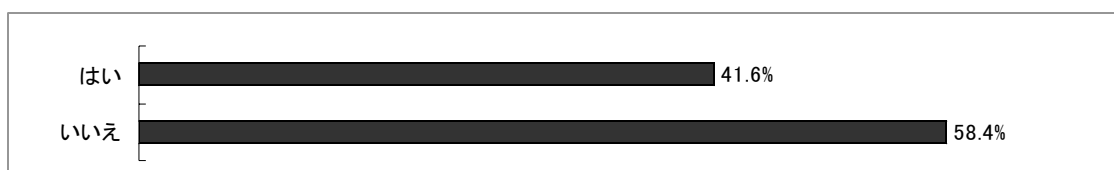
18年度調査にはなかったが、指導者・保護者を対象に、今回「県スポーツ少年団の諸規程・研修会等の認知度」についての設問を設けた。

「団活動の指針」の認知度は、指導者が87.4%、保護者が45.0%、「指導者倫理規程」の認知度は、指導者が57.4%、保護者が26.5%だった。

「指導者研究協議会」「認定員等再研修会」の認知度は、指導者が75.1%、保護者が48.7%だった。これらの研修会への参加率については、指導者は41.6%、保護者が14.4%にとどまった。

**⇒「指導者倫理規程」の認知度が低い。「指導者研究協議会」「指導者等再研修会」等の研修事業への参加率が低い。**

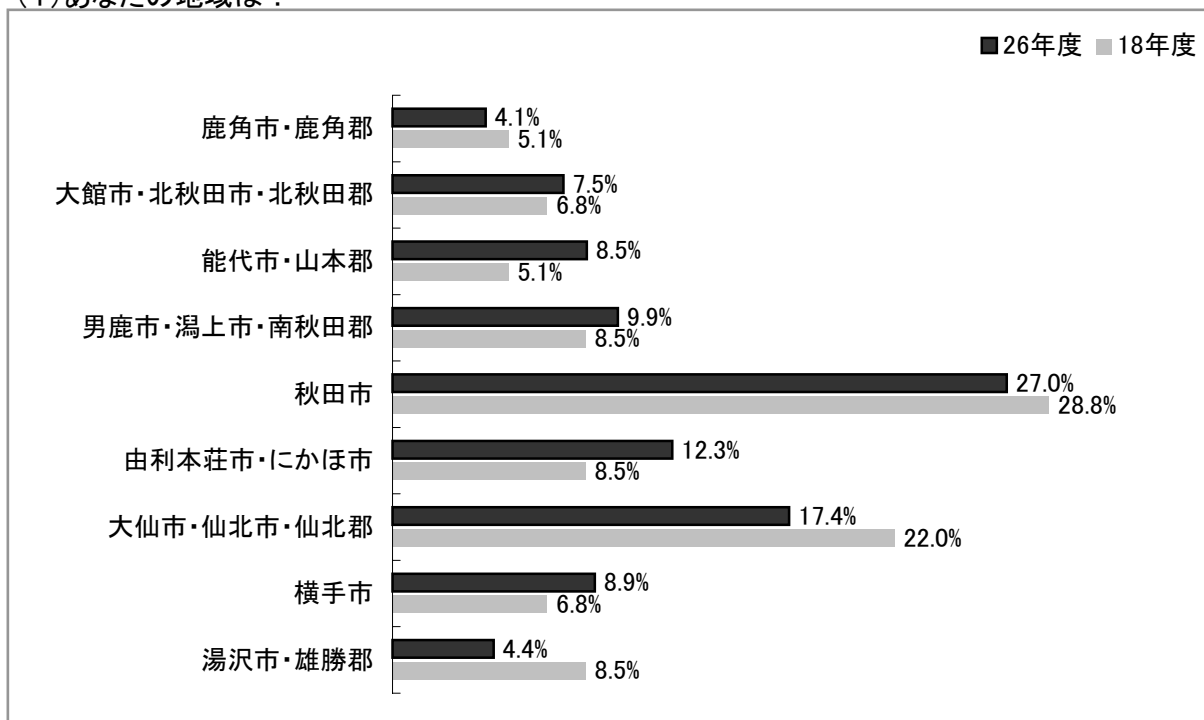
Q 〈指導者〉あなたは「指導者研究協議会」「認定員等再研修会」を受講したことがあるか？



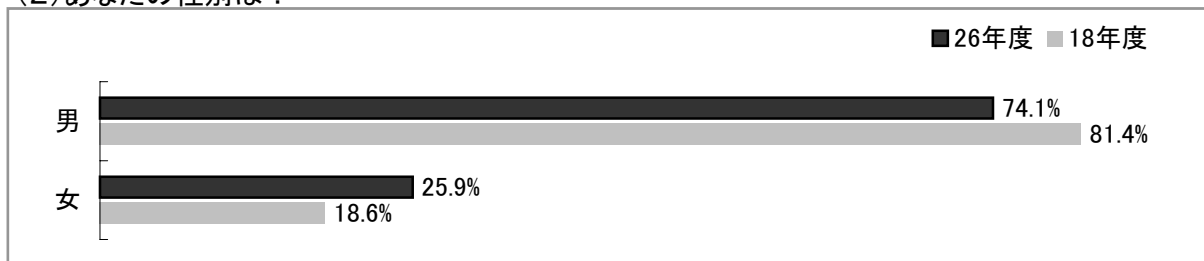
## IV 調査結果

### 1 指導者アンケート結果

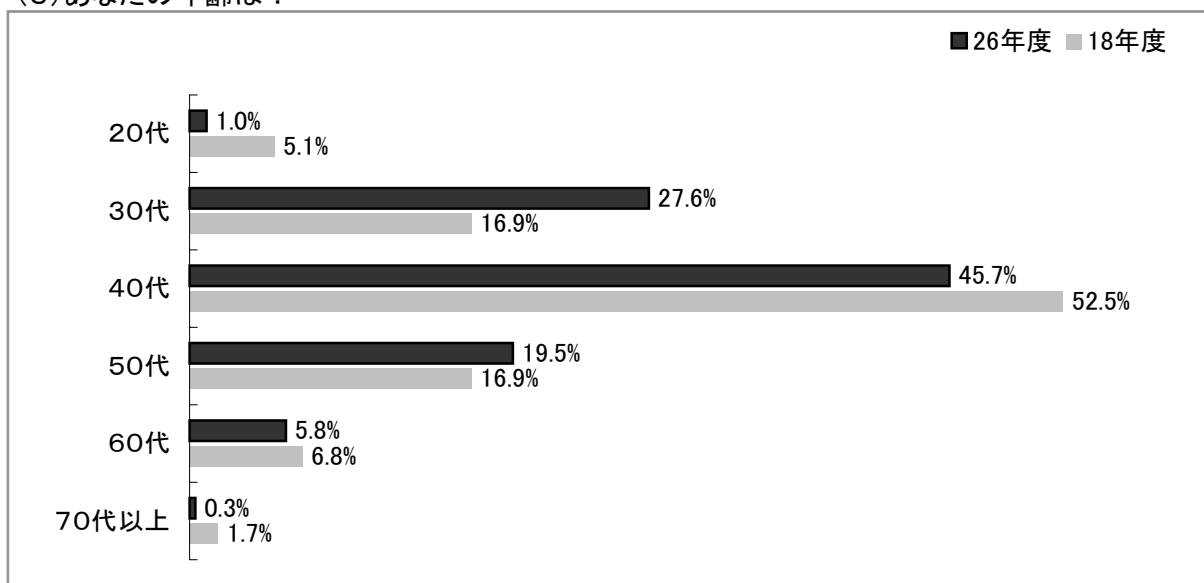
#### (1) あなたの地域は？



#### (2) あなたの性別は？



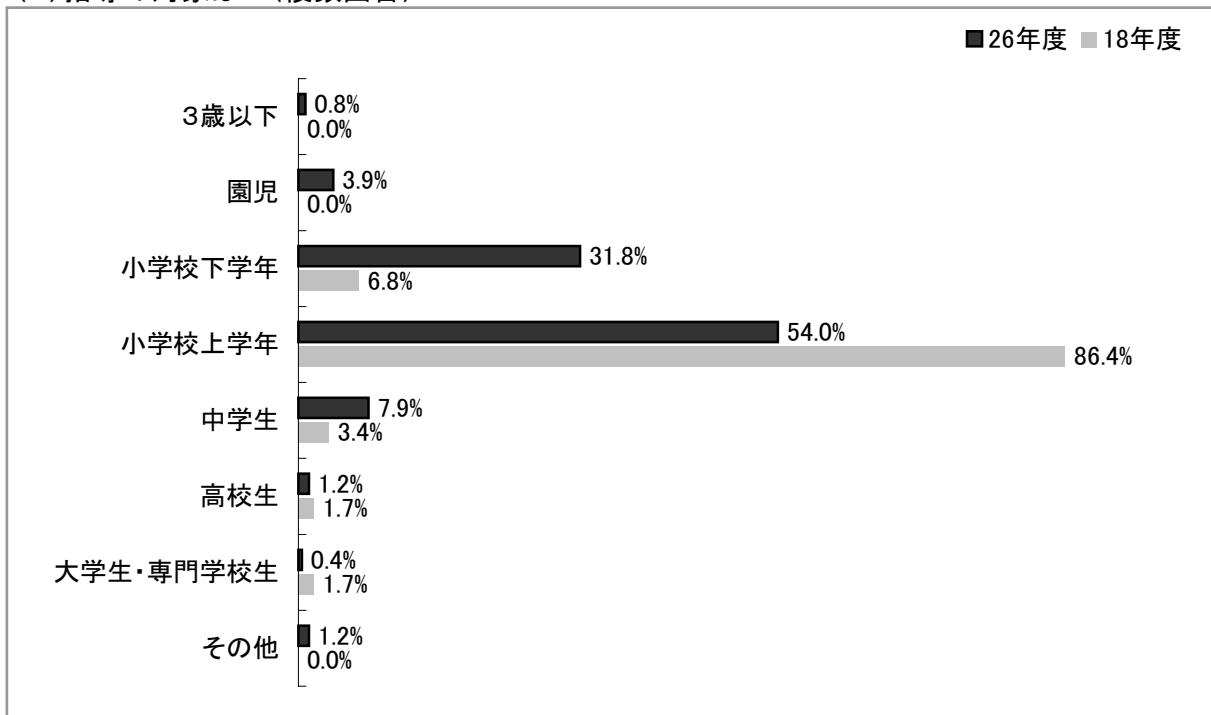
#### (3) あなたの年齢は？



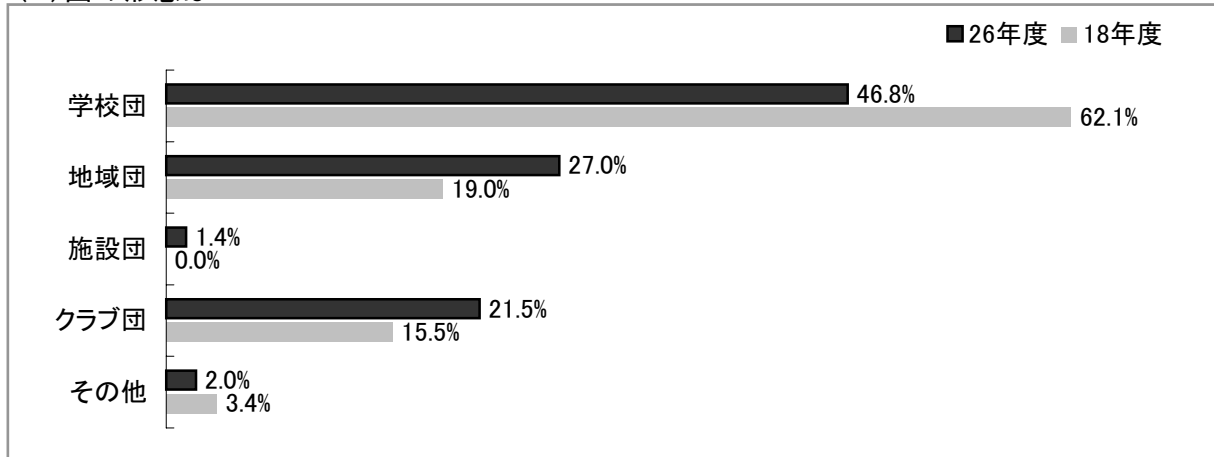
(4) 指導している種目は？(複数回答可)

回答	18年度	26年度
バスケットボール	12.1%	22.8%
軟式野球	31.0%	22.1%
バレーボール	8.6%	10.7%
サッカー	8.6%	8.2%
剣道	10.3%	7.5%
柔道	1.7%	5.7%
スキー	10.3%	5.7%
卓球	6.9%	4.3%
陸上競技	3.4%	3.2%
バドミントン	1.7%	2.5%
水泳	3.4%	1.8%
空手道	1.7%	1.8%
少林寺拳法	0.0%	1.8%
ハンドボール	0.0%	0.7%
テニス	0.0%	0.7%
なぎなた	0.0%	0.4%
相撲	0.0%	0.4%
その他	15.5%	9.3%
合計	100.0%	100.0%

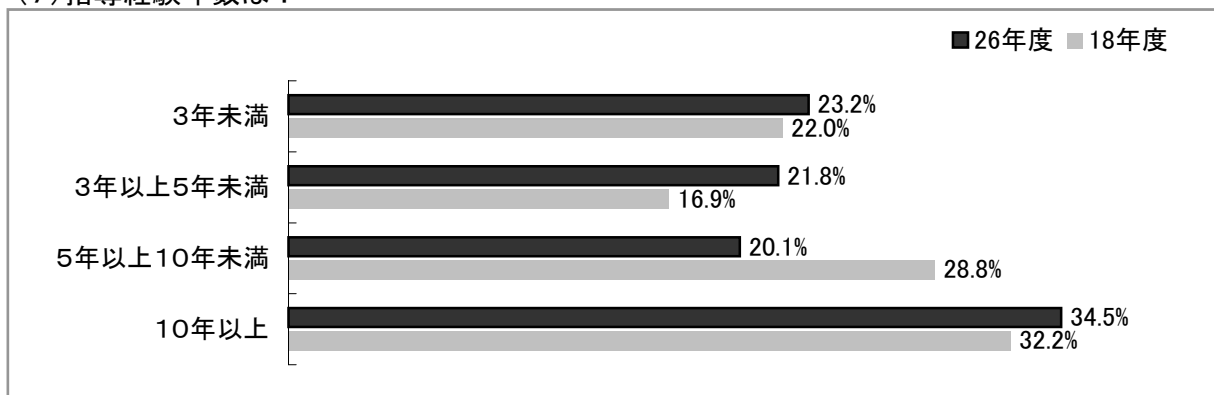
(5) 指導の対象は？(複数回答)



(6) 団の形態は？



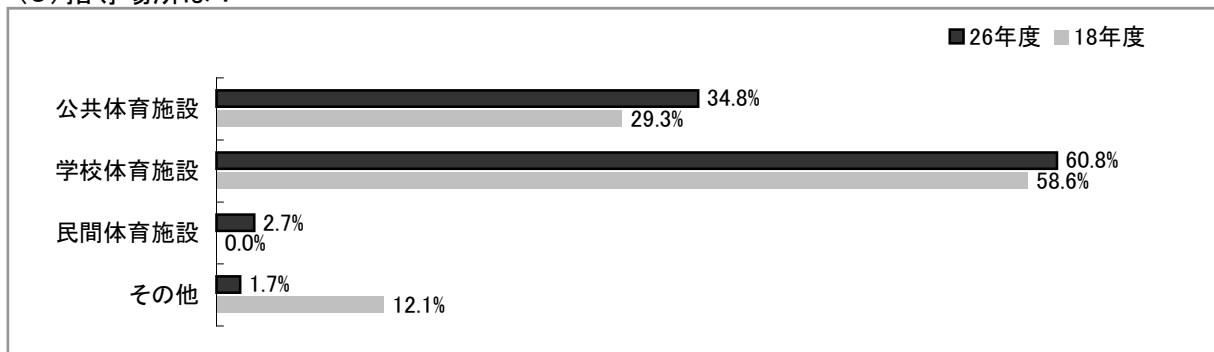
(7) 指導経験年数は？



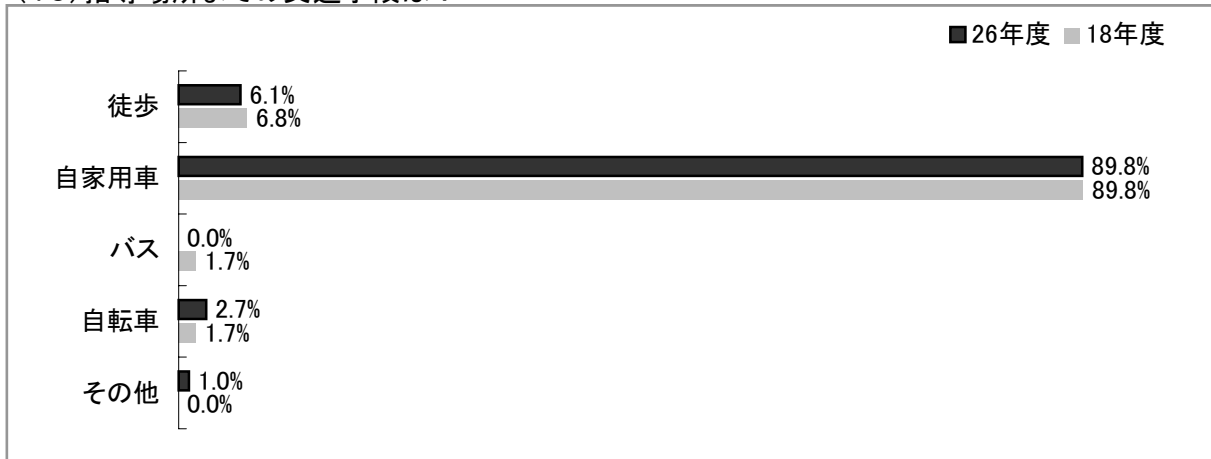
(8) 指導のきっかけは？（複数回答可）

回答	18年度 (%)	26年度 (%)
自分の子供がその団に入団したから	19.4%	30.9%
過去の自分の経験を生かす	21.6%	20.7%
第三者に頼まれて	10.8%	11.2%
地域・社会奉仕のため	7.2%	10.3%
子供が好きだから	8.6%	10.1%
身体を動かすことが好き	15.1%	8.6%
指導するのが好き	7.9%	5.6%
スポーツを自分自身でやってみたい	7.2%	1.6%
押しつけられて仕方なく	2.2%	1.1%
その他	0.0%	1.3%
合計	100.0%	100.0%

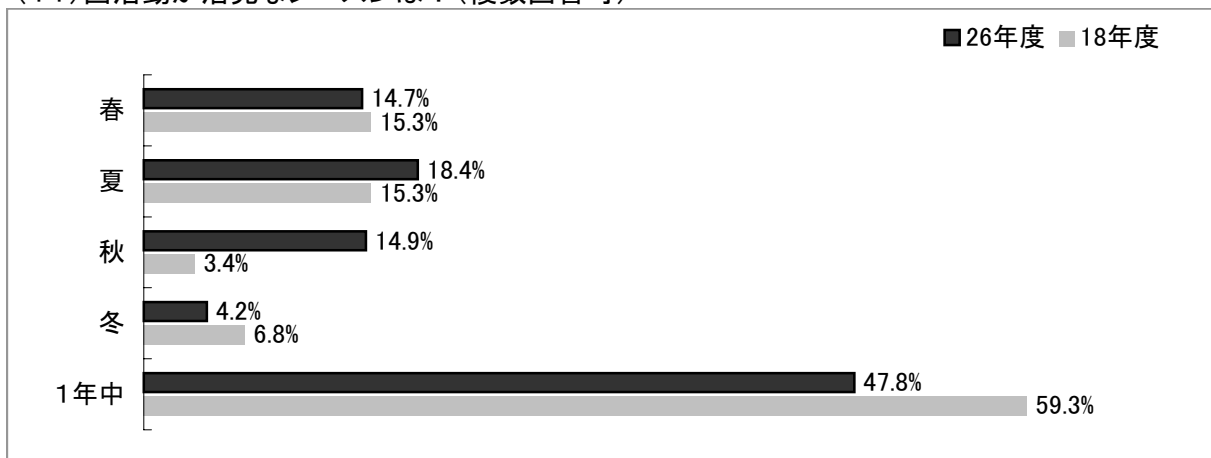
(9) 指導場所は？



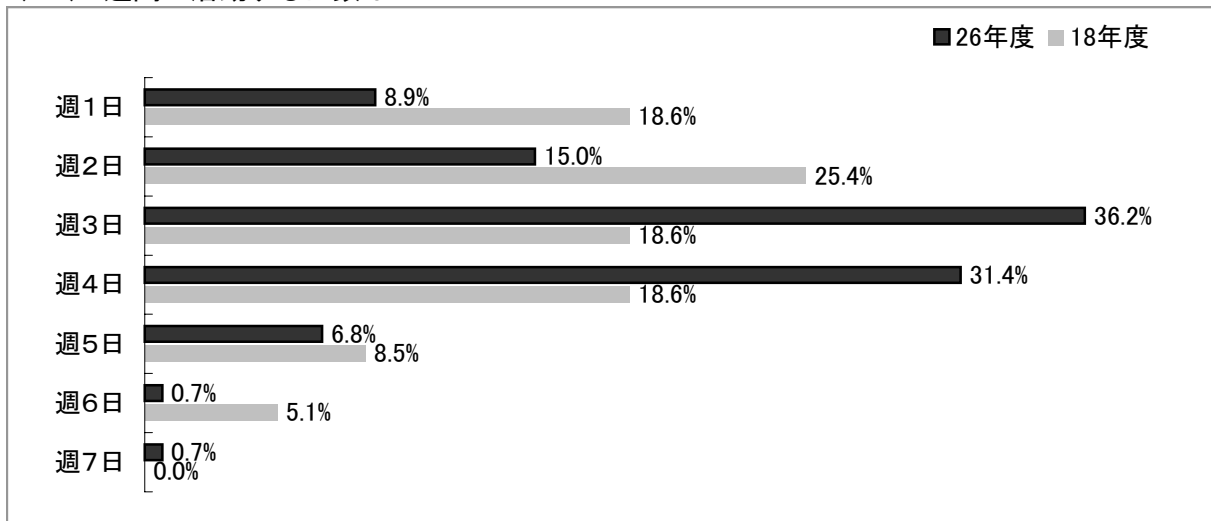
(10) 指導場所までの交通手段は？



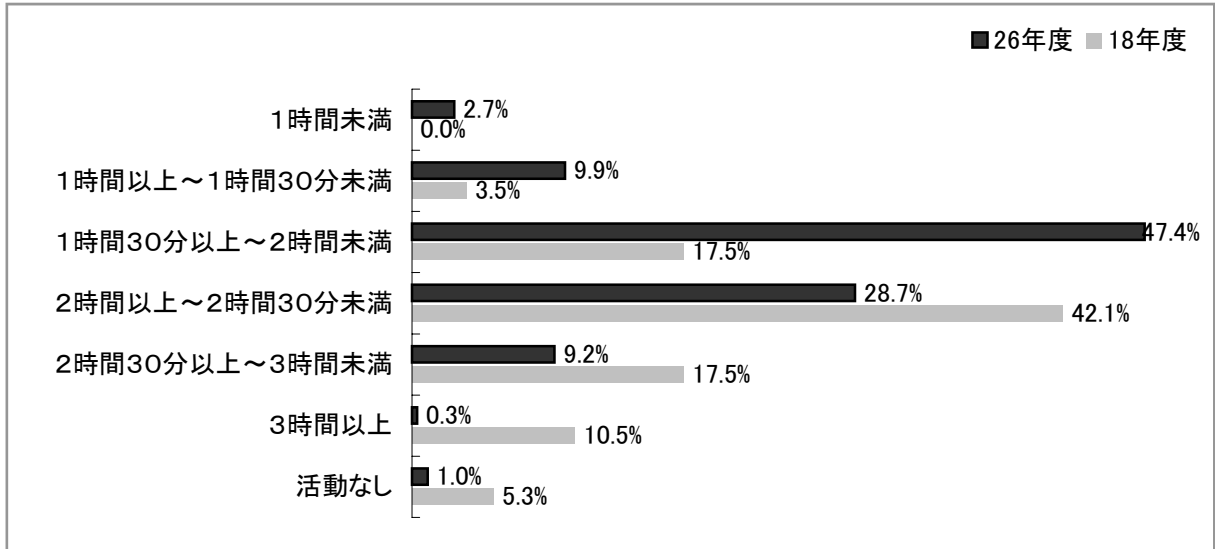
(11) 団活動が活発なシーズンは？(複数回答可)



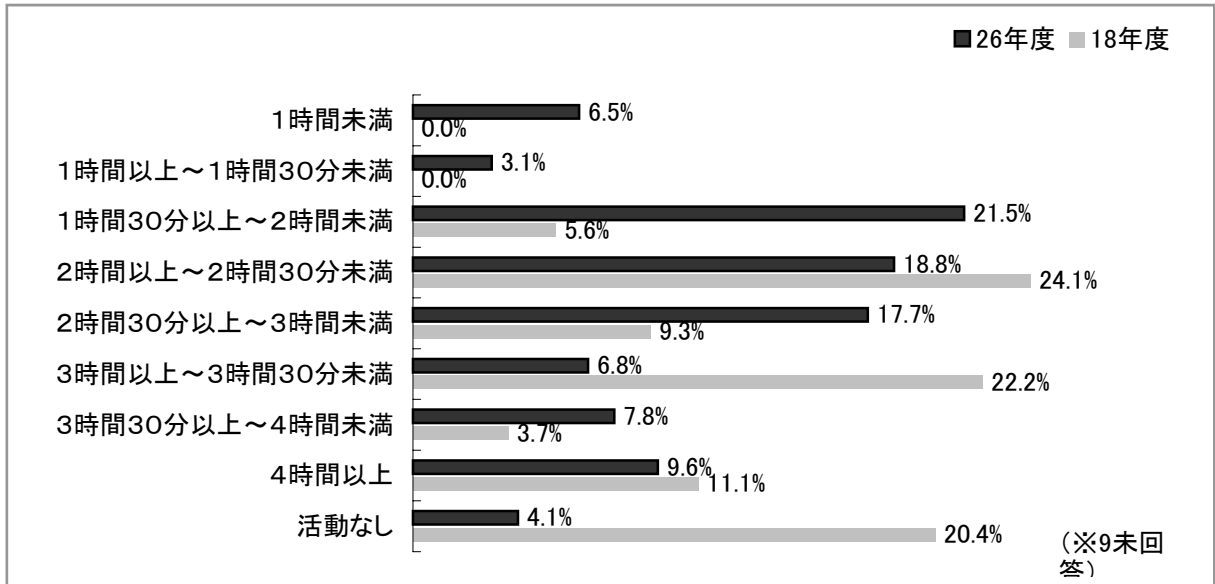
(12) 1週間に活動する日数は？



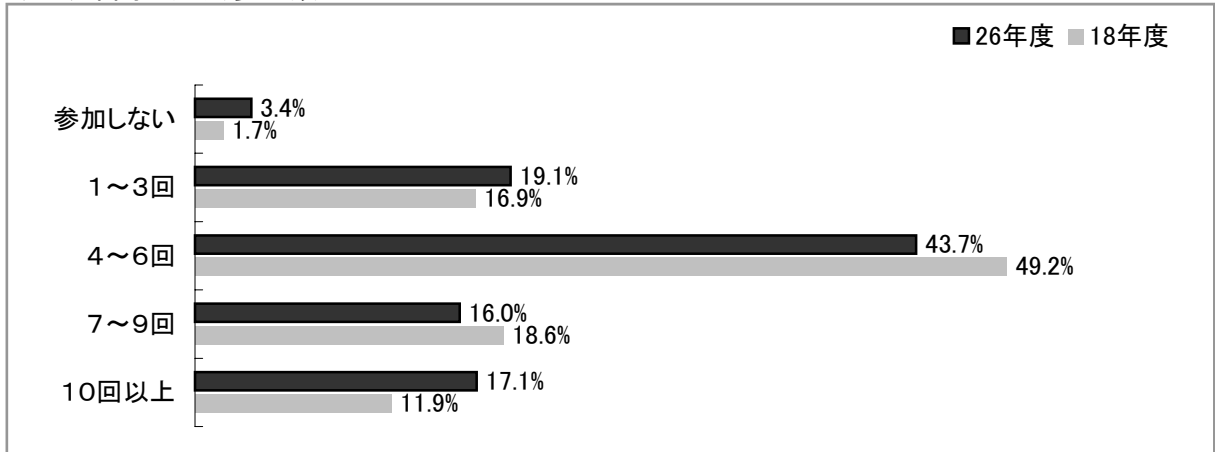
(13) 平日の活動時間は？



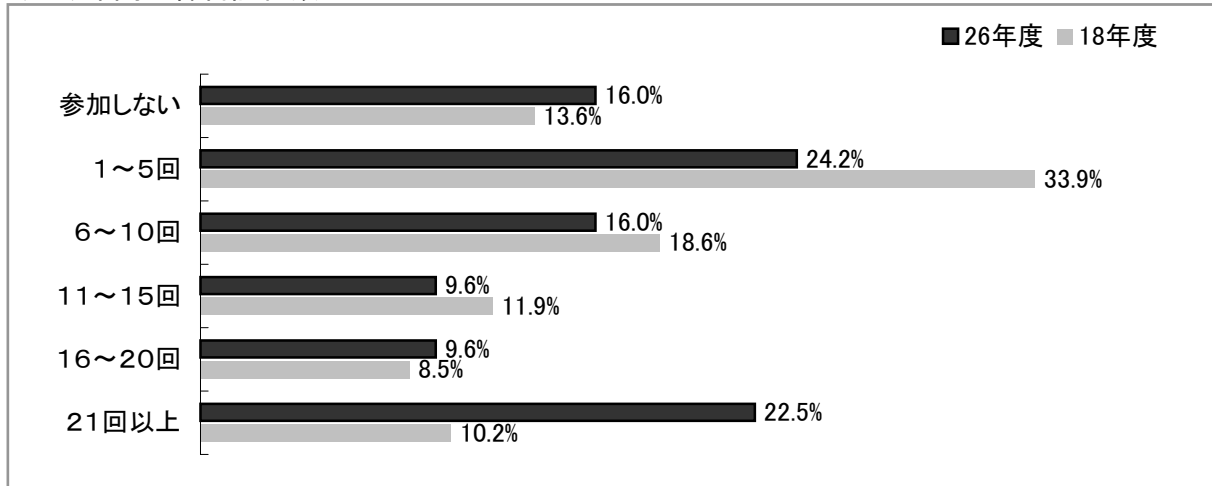
(14) 休日の活動時間は？



(15) 年間の大会参加数は？



(16)年間の練習試合数は？



(17)指導者としての目標は？(複数回答可)

回答	18年度	26年度
チームワークなど協調性や社会性を身につけさせる	18.0%	19.5%
スポーツを通じて子供を心身共に成長させる	16.3%	20.6%
スポーツの楽しさを経験させる	18.0%	19.2%
けがや事故がないように安全面に配慮する	12.7%	12.1%
基本的な生活習慣を身につけさせる	11.4%	10.9%
スポーツの技術を習得させる	13.5%	10.5%
各種大会や試合に出て勝たせること	4.1%	4.2%
優秀な選手を育成する	3.7%	2.2%
余暇を効果的に活用させる	1.6%	0.6%
その他	0.8%	0.1%
合計	100.0%	100.0%

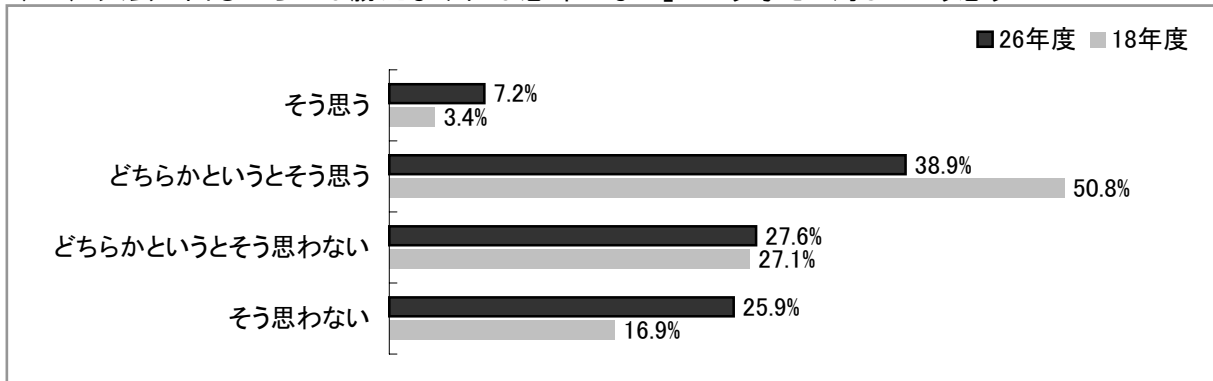
(18)具体的指導方法は？(複数回答可)

回答	18年度	26年度
基礎的・基本的技術を重点的に	18.2%	19.1%
ルールとかマナー、与えられた役割をきちんとわからせるよう	14.2%	14.8%
楽しく活動できるような雰囲気を作る	14.2%	13.7%
年齢差、個人差、発達段階を考えて	9.5%	11.6%
子供の体調をよく観察し	8.7%	9.5%
遊びやゲーム的要素を取り入れている	9.5%	9.3%
指導計画を考えて	9.5%	8.7%
子供の考えを取り入れて	2.0%	4.4%
自身の経験や勘に頼った	6.3%	2.7%
試合数や活動時間が多すぎないように	3.6%	2.4%
栄養面について	0.0%	0.9%
子供の考えより、自分の指導方針を優先して	1.2%	0.7%
根性論や精神主義に基づいた	0.8%	0.6%
厳しく叱咤し	1.2%	0.5%
その他	1.2%	0.8%
未回答	0.0%	0.1%
合計	100.0%	100.0%

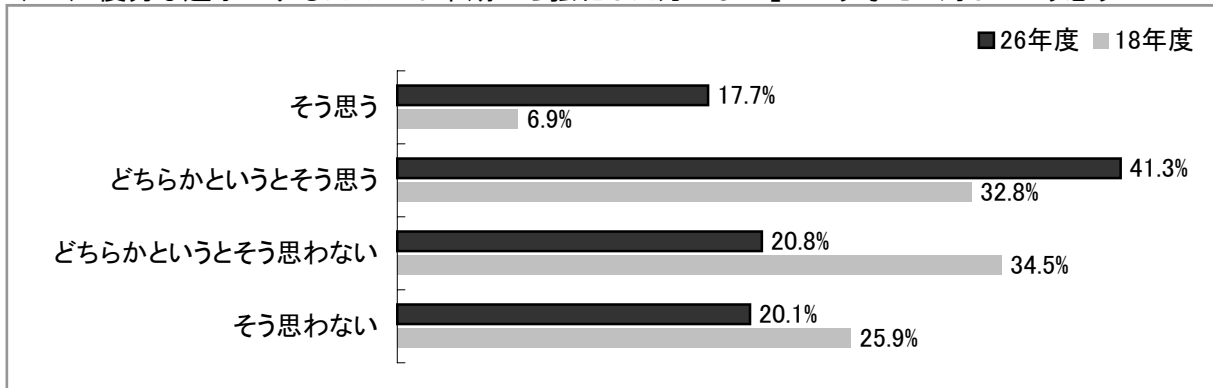
(19)現在あるいは今後の指導の課題は？(複数回答可)

回答	18年度	26年度
入団者の減少	17.8%	25.8%
指導者の不足	15.1%	14.3%
施設・設備の確保	8.1%	8.3%
自分の仕事が忙しい	11.9%	7.8%
指導者の負担軽減	9.2%	5.5%
ほかのスポ少との関連	3.8%	5.4%
中学校・高校の部活動との関連	3.2%	4.5%
保護者の無理解	3.2%	4.0%
指導者の高齢化	-	3.9%
保護者の期待が過熱	4.9%	3.8%
活動予算の不足	4.9%	3.7%
指導者の指導不足	3.8%	3.5%
児童・生徒の素行面	2.2%	2.1%
児童・生徒の塾や習い事との関連	4.3%	1.9%
指導者間の人間関係	3.2%	1.9%
学校の無理解	2.2%	1.7%
指導者の意識の加熱	0.5%	1.3%
地域住民の意識の加熱	0.0%	0.0%
その他	1.6%	0.6%
未回答	0.0%	0.1%
合計	100.0%	100.0%

(20)「大会に出るからには勝たなければ意味がない」という考えに対してどう思うか？

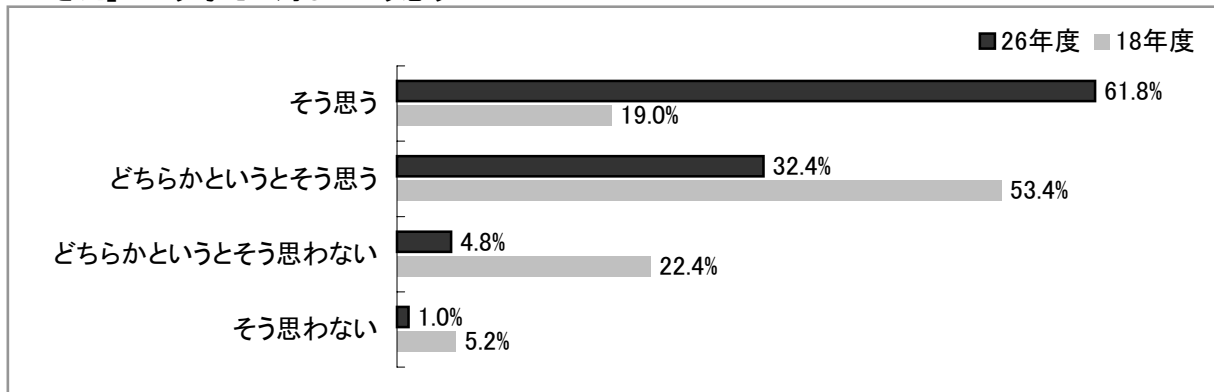


(21)「優秀な選手にするためには早期から強化した方がよい」という考えに対してどう思うか？

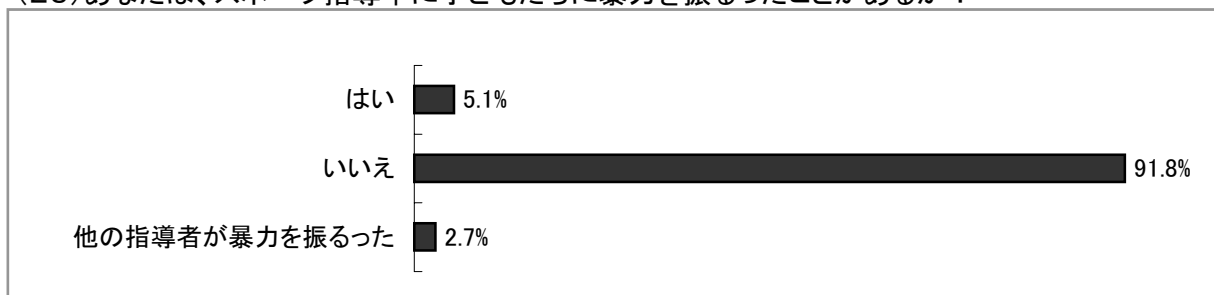




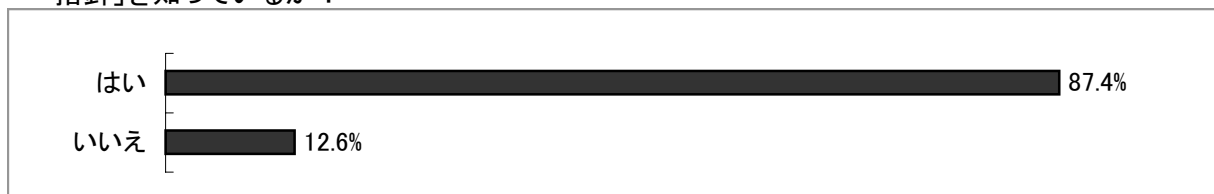
(22)「小学生期は、スポーツの楽しさや仲間とのふれあいを味わわせることを念頭に指導すべきだ」という考えに対してどう思うか？



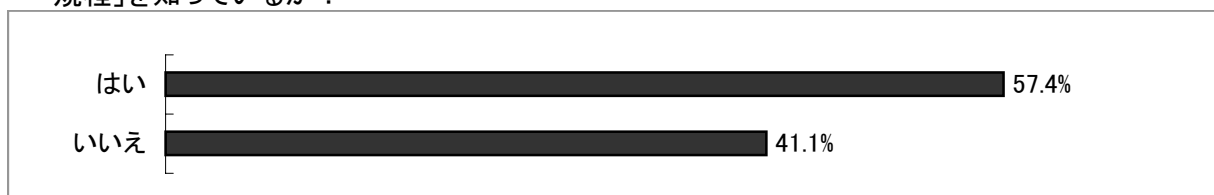
(23)あなたは、スポーツ指導中に子どもたちに暴力を振るったことがあるか？



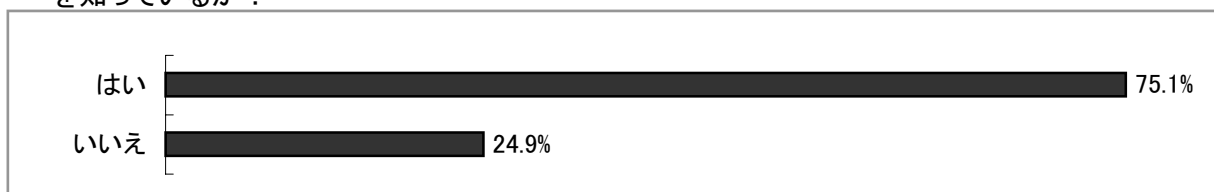
(24)あなたは、県スポーツ少年団が望ましい活動時間・活動日数等について定めた「団活動の指針」を知っているか？



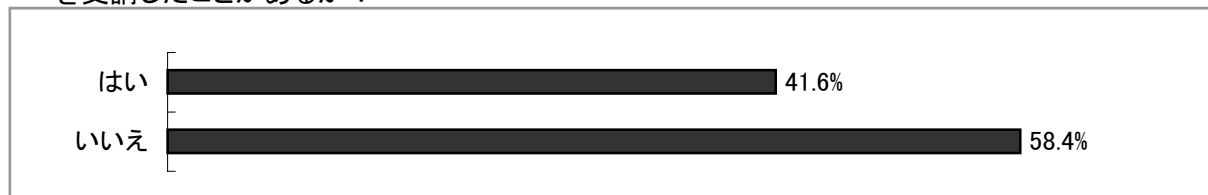
(25)あなたは、県スポーツ少年団が不祥事・信用失墜行為根絶のために定めた「指導者倫理規程」を知っているか？



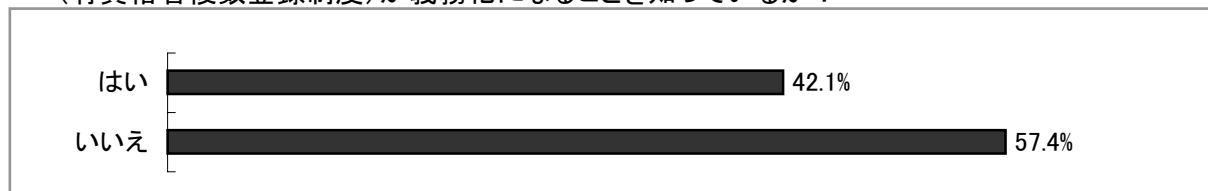
(26)あなたは、県スポーツ少年団が実施している「指導者研究協議会」や「認定員等再研修会」を知っているか？



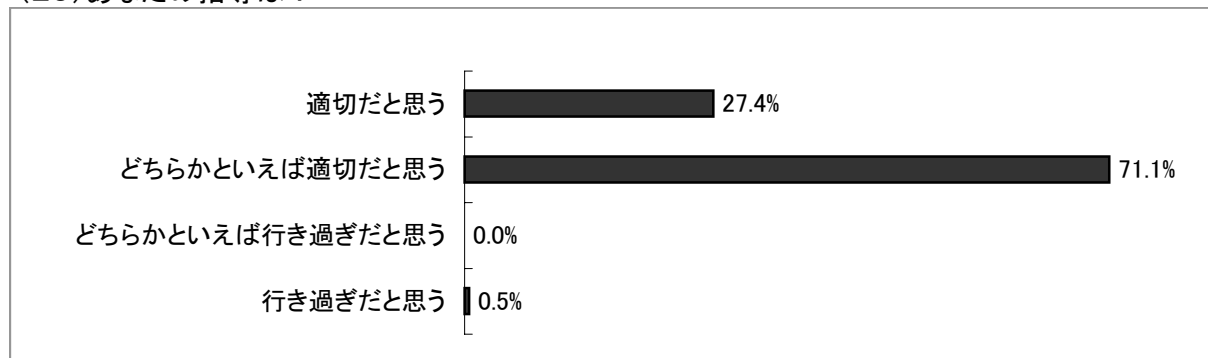
(27)あなたは、県スポーツ少年団が実施している「指導者研究協議会」や「認定員等再研修会」を受講したことがあるか？



(28)あなたは、平成27年度から、一つの団で有資格指導者が複数登録しなければならない制度（有資格者複数登録制度）が義務化になることを知っているか？

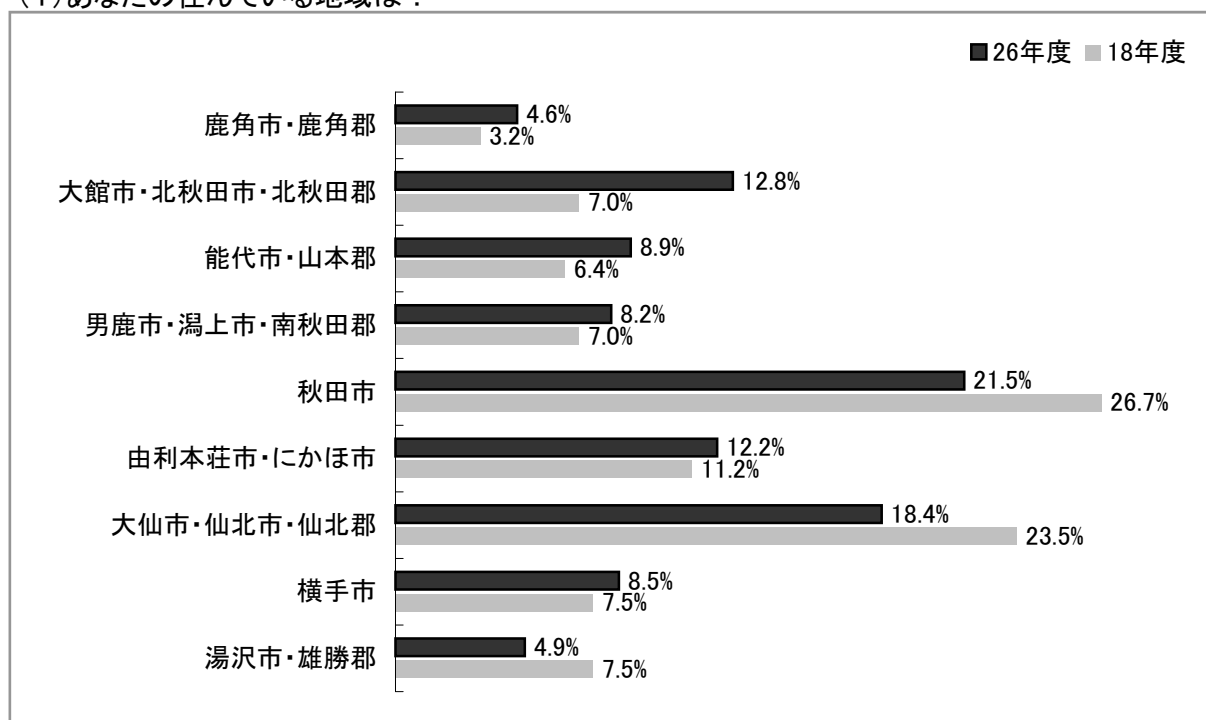


(29)あなたの指導は？

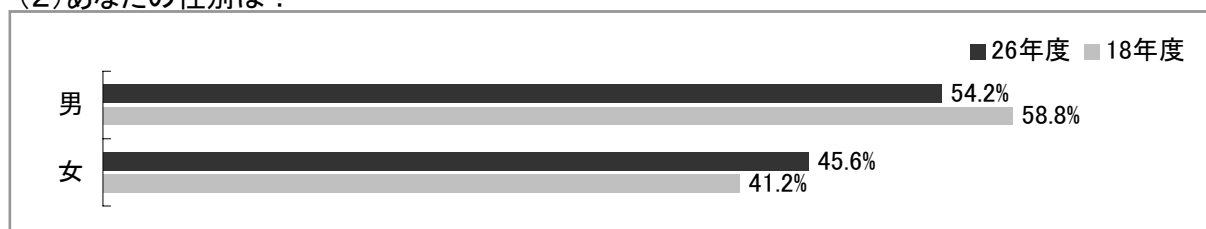


## 2 団員アンケート結果

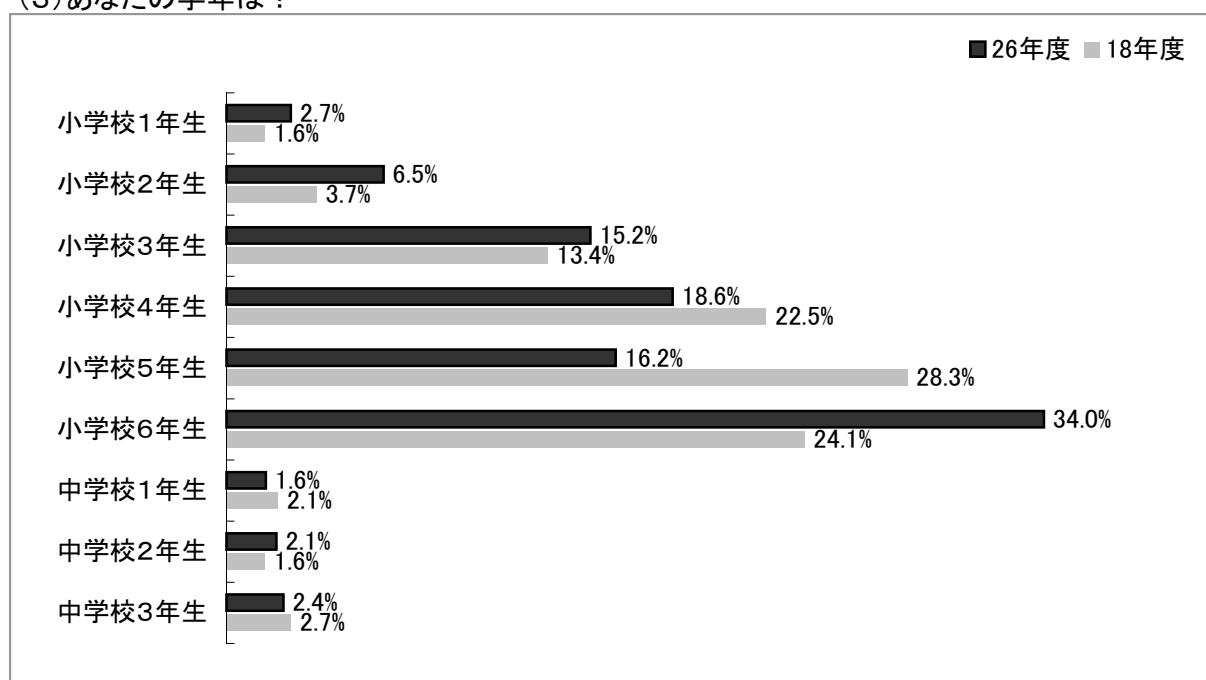
### (1) あなたの住んでいる地域は？



### (2) あなたの性別は？



### (3) あなたの学年は？



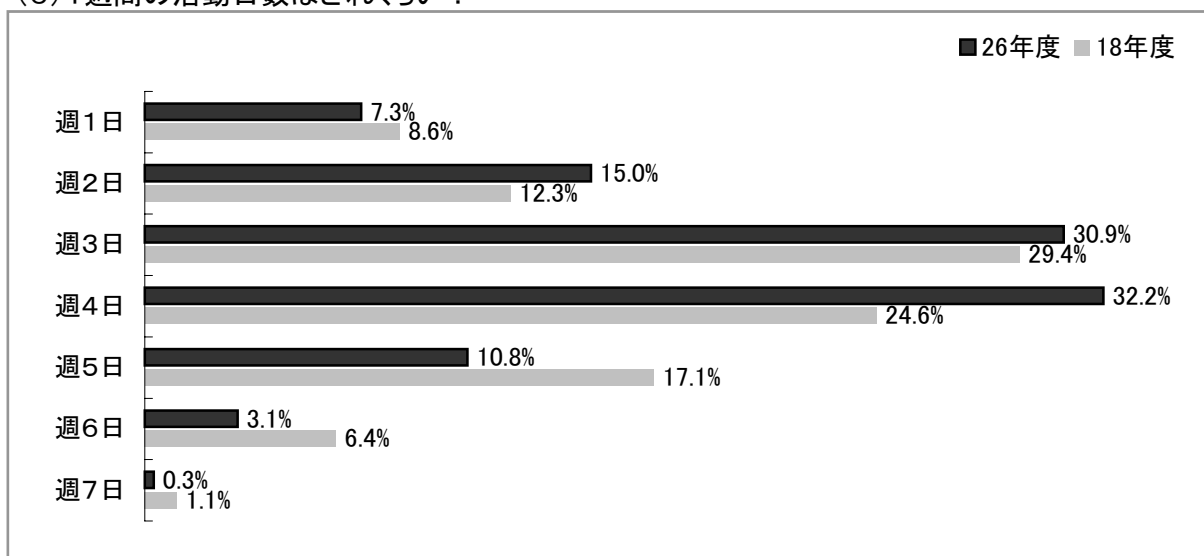
## (4) あなたがおこなっている種目は？(複数回答可)

回答	18年度	26年度
バスケットボール	25.0%	21.5%
軟式野球	25.9%	20.0%
バレーボール	5.1%	9.7%
サッカー	5.1%	7.1%
剣道	5.1%	6.8%
スキー	4.6%	5.4%
柔道	6.5%	5.0%
陸上競技	2.3%	4.4%
卓球	5.1%	3.8%
水泳	1.9%	2.3%
空手道	2.3%	2.1%
バドミントン	0.5%	1.7%
テニス	1.9%	1.5%
少林寺拳法	1.4%	0.8%
相撲	0.9%	0.7%
ハンドボール	0.9%	0.4%
なぎなた	0.5%	0.3%
その他	5.1%	6.3%
未回答	0.0%	0.3%
合計	100.0%	100.0%

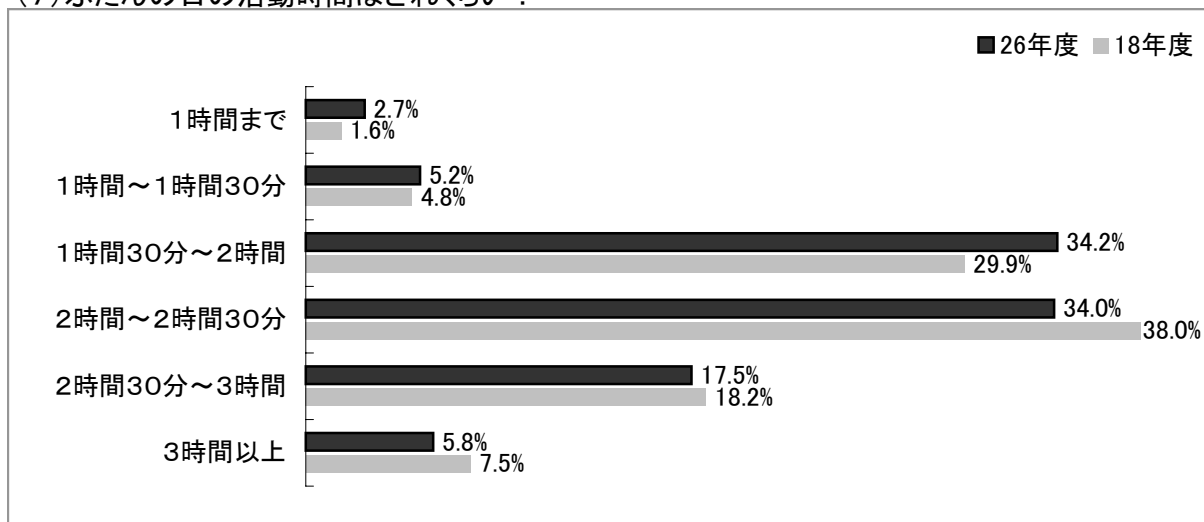
## (5) スポーツ少年団に入ったわけは？(2つ以内で)

回答	18年度	26年度
そのスポーツが好きだから	22.0%	21.3%
兄や姉がやっていたから	11.0%	13.0%
そのスポーツをやってみたい	13.4%	12.3%
父や母がすすめたから	7.3%	9.2%
友達にさそわれて	-	7.7%
体も心もたくましくなりたい	10.1%	7.2%
将来、スポーツ選手になりたい	6.7%	5.9%
試合で勝ちたい	6.7%	5.1%
友達といっしょに過ごしたい	4.9%	4.0%
友達や仲間を作りたい	5.2%	3.8%
大会で勝ちたい	-	3.8%
何事にも自信をつける	2.7%	1.6%
中学や高校で部活をやりたいから	-	1.4%
実際の選手へのあこがれ	3.4%	1.2%
学校の先生やコーチのすすめ	1.5%	1.1%
気ばらし、楽しみのため	0.9%	0.8%
空いている時間がある	0.9%	0.5%
きまりや役割を守れる	0.3%	0.3%
その他	3.0%	2.8%
合計	100.0%	100.0%

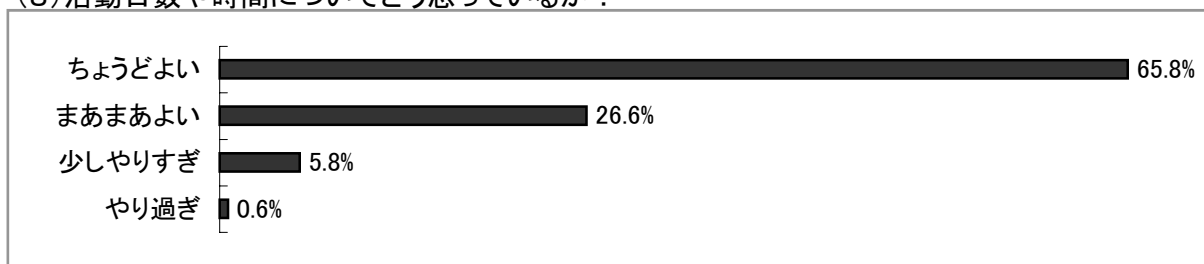
(6) 1週間の活動日数はどれくらい？



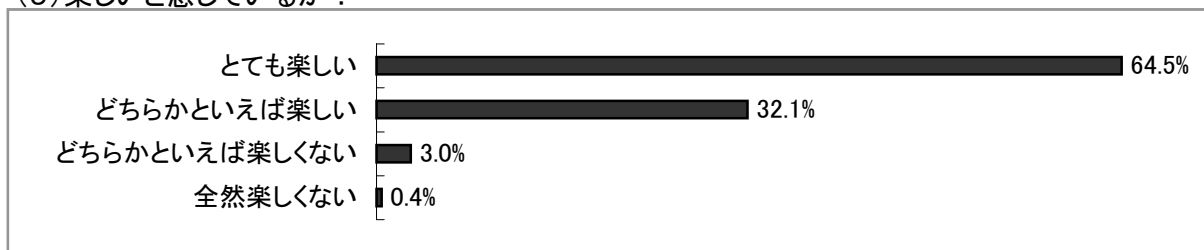
(7) ふだんの日の活動時間はどれくらい？



(8) 活動日数や時間についてどう思っているか？



(9) 楽しいと感じているか？



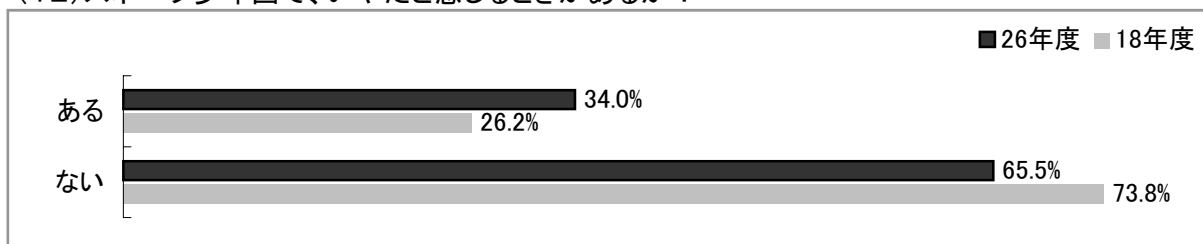
(10)(9)で「①とても楽しい」「②どちらかといえば楽しい」と答えた人は、どんなときが楽しいか？  
(3つ以内で)

回答	18年度	26年度
試合に勝ったとき	20.0%	23.8%
うまくなったと感じたとき	17.1%	14.8%
思い通りのプレーができたとき	14.9%	14.3%
指導者にほめられたとき	9.4%	12.7%
父や母にほめられたとき	3.8%	7.0%
友達と仲良くできたとき	8.3%	6.1%
体力がついたと感じたとき	10.0%	5.9%
試合に出たとき	-	4.8%
レギュラーになれたとき	5.1%	3.7%
汗をかいてすっきりしたとき	5.5%	1.6%
練習以外の活動をするとき	-	1.4%
学校の先生にほめられたとき	0.4%	1.2%
礼儀正しくなった	0.9%	0.8%
たくさん食べられるようになったとき	0.4%	0.7%
我慢強くなった	3.6%	0.7%
その他	0.4%	0.4%
未回答	0.0%	0.2%
合計	100.0%	100.0%

(11)(9)で「③どちらかといえば楽しくない」「④全然楽しくない」と答えた人は、そのわけは？

- ・まだ楽しいと感じない
- ・レギュラーの人達だけが練習していて、その他はボール拾いだけだったりしたから
- ・ランニングが辛いから
- ・すぐ怒って、パスを強くやったり、パスをくれないから
- ・楽しいと感じるものではなかった
- ・先輩の目
- ・友達と遊ぶ時間が土・日曜日は全くない
- ・部員の1人にいじわる(無視、悪口)されるから
- ・指導者の事が大嫌い。努力しても報われない。ほめてくれない
- ・自分の時間が全くないから
- ・叩かれると痛いし、友達と遊んでいるのを中断したくない
- ・陸上が好きと言うわけではなく、体力づくりのためだから
- ・いらつく人がいるから
- ・舌打ち、こそこそ話で悪口を言う。一生懸命にやっている自分をへたくそだから認めてくれない
- ・ペアを組むと嫌な顔をされる
- ・教えられていないことをやらせて出来ないと怒るから、しかられることが多いからチームが暗い
- ・好きでやっているわけではないので
- ・自分のチームは、あまり強くなかったから
- ・練習量が多い。指導者が試合に負けたとき団員のせいにする。どなる
- ・練習がキツイのに試合に勝てないから
- ・女子が1人しかいないため
- ・仲間がまじめに練習しないとき

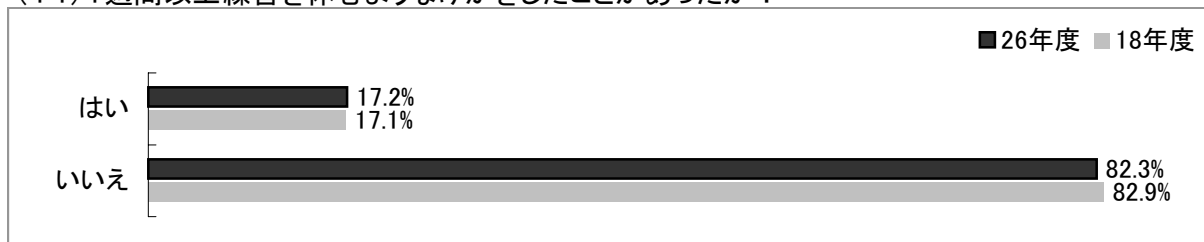
(12)スポーツ少年団で、いやだと感じるときがあるか？



(13) (12)で「①ある」と答えたわけは？(3つ以内で)

回答	18年度	26年度
試合に負けたとき	15.9%	13.2%
なかなかじょうずにならない	14.8%	10.5%
疲れる	5.7%	10.3%
指導者にしかられたとき	3.4%	9.3%
遊びの時間がない	5.7%	8.6%
勉強の時間がない	4.5%	5.4%
家に帰る時間が遅い	6.8%	5.1%
いじめがある	2.3%	4.6%
友達と仲良くやれない	2.3%	4.6%
指導者がえこひいきする	3.4%	3.9%
楽しくない	3.4%	3.4%
勝つことにこだわりすぎる	4.5%	2.9%
関節や筋肉が痛い	3.4%	2.9%
練習時間が長い	5.7%	2.7%
指導者がこわい	0.0%	2.7%
練習時間が短い	3.4%	2.4%
レギュラーになれない	4.5%	1.0%
練習がきびしすぎる	0.0%	1.0%
指導者が暴力をふるう	0.0%	0.7%
その他	8.0%	4.2%
未回答	2.3%	0.5%
合計	100.0%	100.0%

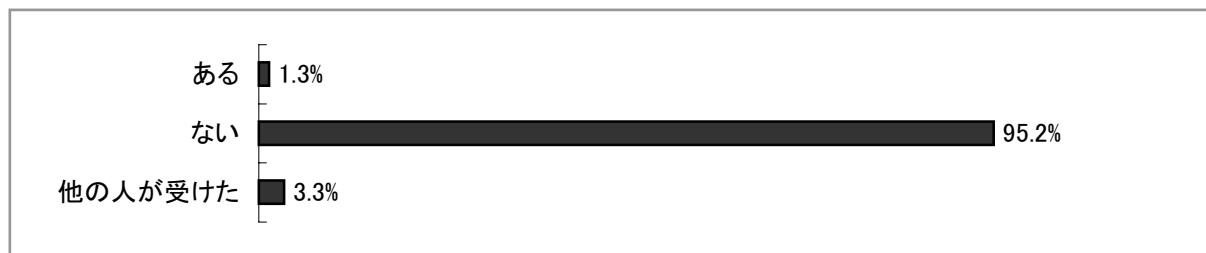
(14) 1週間以上練習を休むようなけがをしたことがあったか？



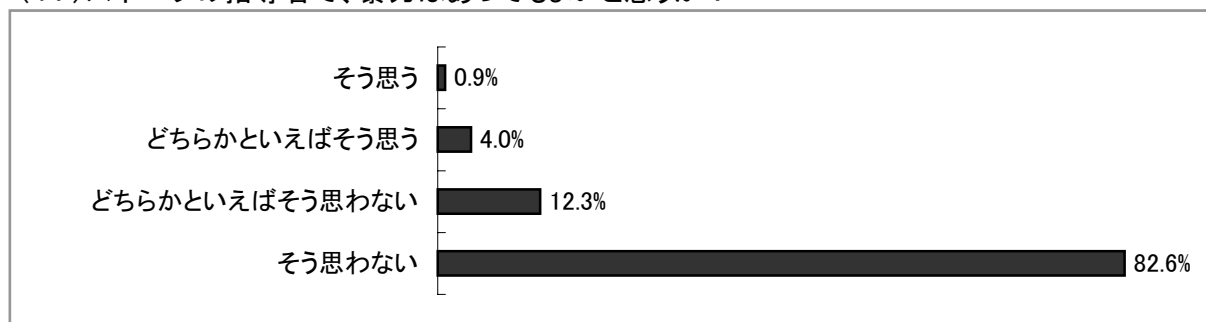
(15) (14)で「①はい」と答えた人は、どの部分をけがしたか？(3つ以内で)

回答	18年度	26年度
足首	14.6%	25.5%
手の指	20.8%	16.8%
足	14.6%	15.3%
ひざ	14.6%	9.5%
手首	4.2%	8.8%
ひじ	10.4%	6.6%
肩	0.0%	5.8%
腰	2.1%	5.1%
腕	8.3%	2.9%
足の指	6.3%	2.2%
頭	2.1%	0.7%
鼻	0.0%	0.7%
目	2.1%	0.0%
耳	0.0%	0.0%
首	0.0%	0.0%
背中	0.0%	0.0%
その他	0.0%	13.9%
合計	100.0%	100.0%

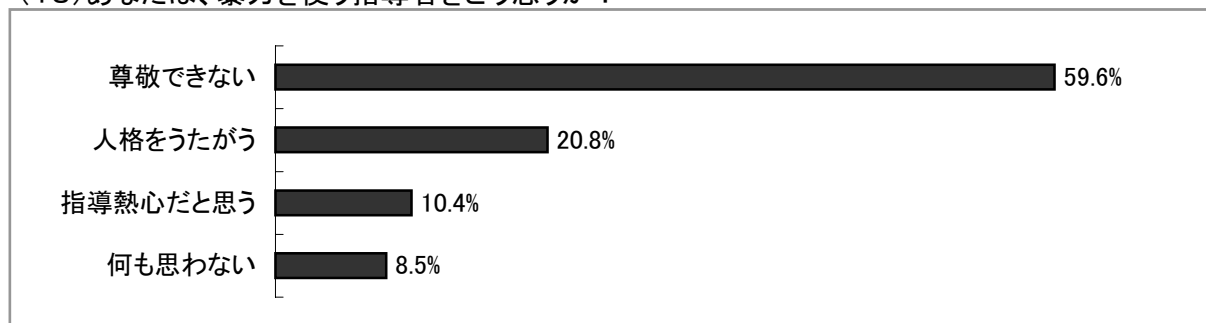
(16)あなたは、指導者から暴力を受けたことがあるか？



(17)スポーツの指導者で、暴力があってもよいと思うか？



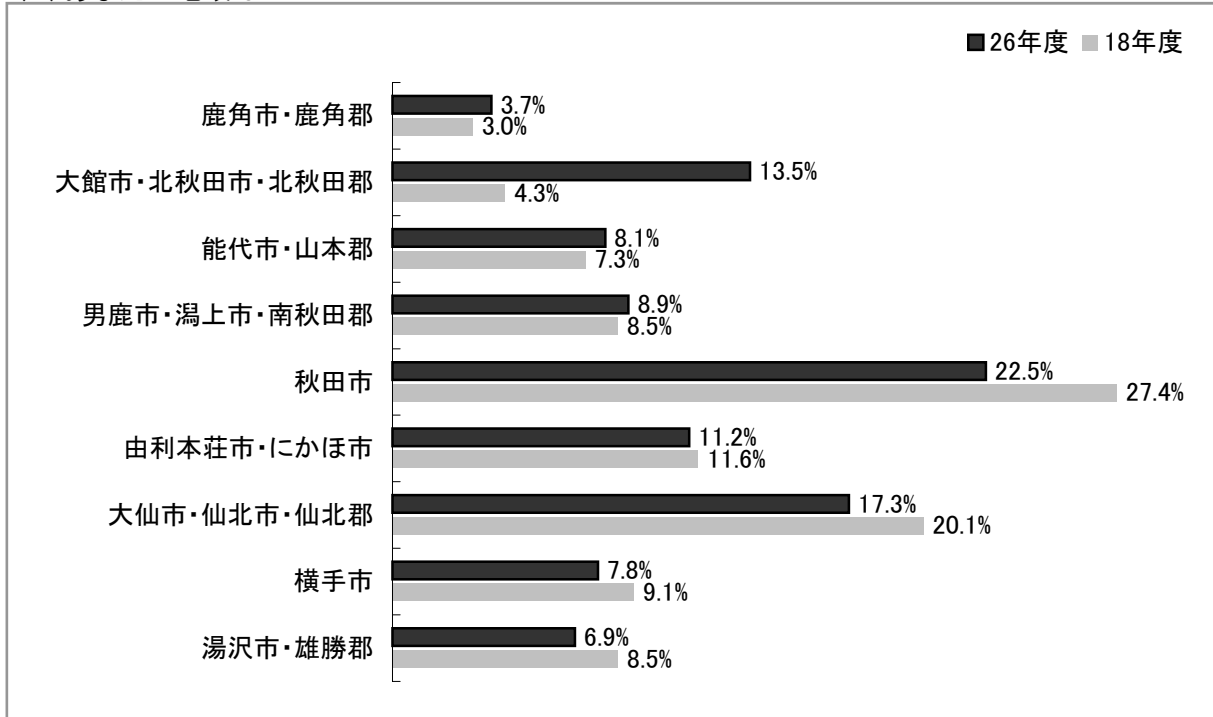
(18)あなたは、暴力を使う指導者をどう思うか？



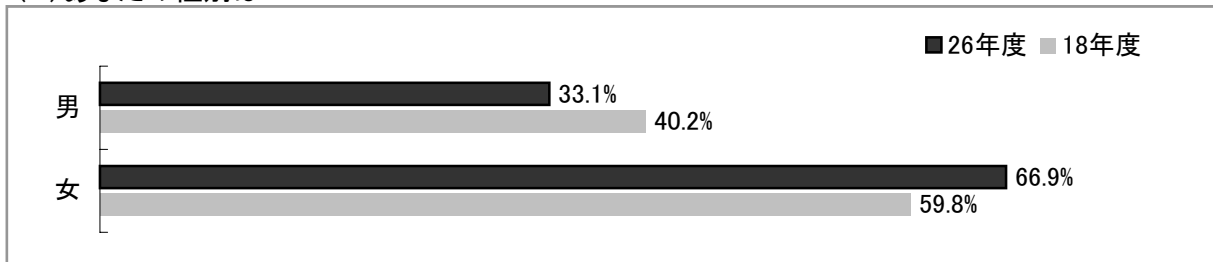


### 3 保護者アンケート結果

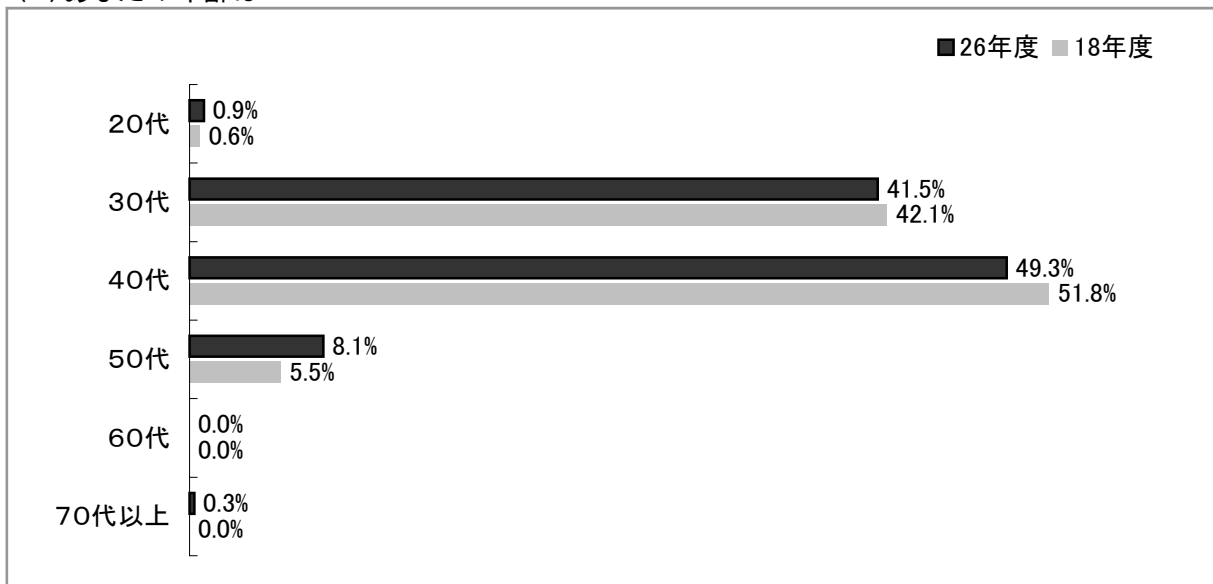
(1) あなたの地域は？



(2) あなたの性別は？



(3) あなたの年齢は？



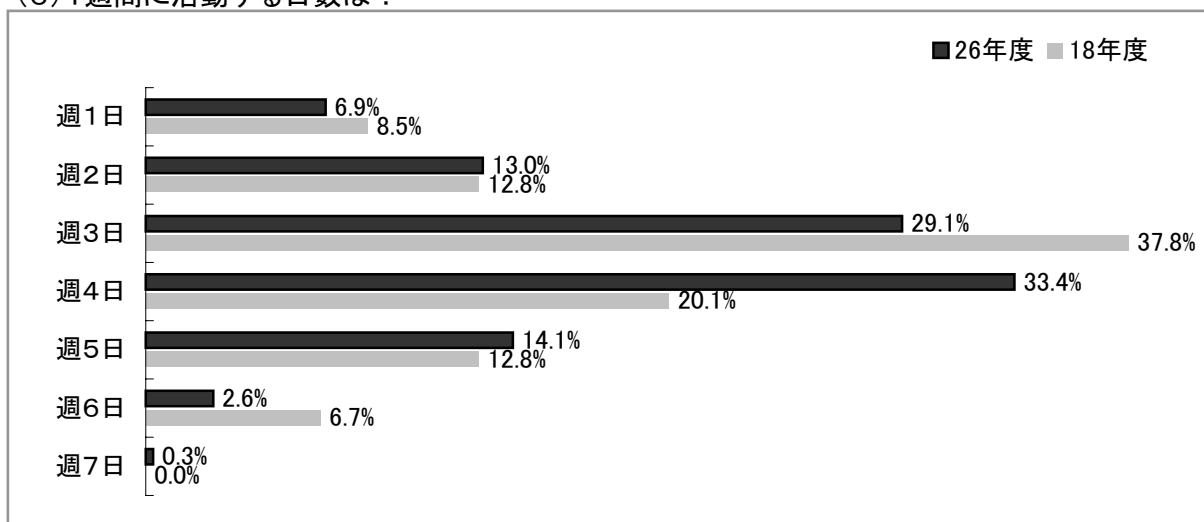
(4)お子さんの種目は？(複数回答可)

回答	18年度	26年度
バスケットボール	23.0%	25.8%
軟式野球	22.4%	22.4%
バレーボール	7.1%	9.9%
サッカー	11.5%	7.9%
剣道	9.8%	7.4%
柔道	4.9%	6.5%
陸上競技	2.7%	4.2%
スキー	5.5%	4.0%
卓球	3.8%	3.4%
水泳	2.7%	2.3%
空手道	1.6%	1.7%
ハンドボール	0.0%	0.8%
テニス	0.5%	0.8%
バドミントン	1.1%	0.8%
少林寺拳法	1.6%	0.8%
なぎなた	0.5%	0.6%
相撲	1.1%	0.6%
その他	9.8%	7.1%
合計	100.0%	100.0%

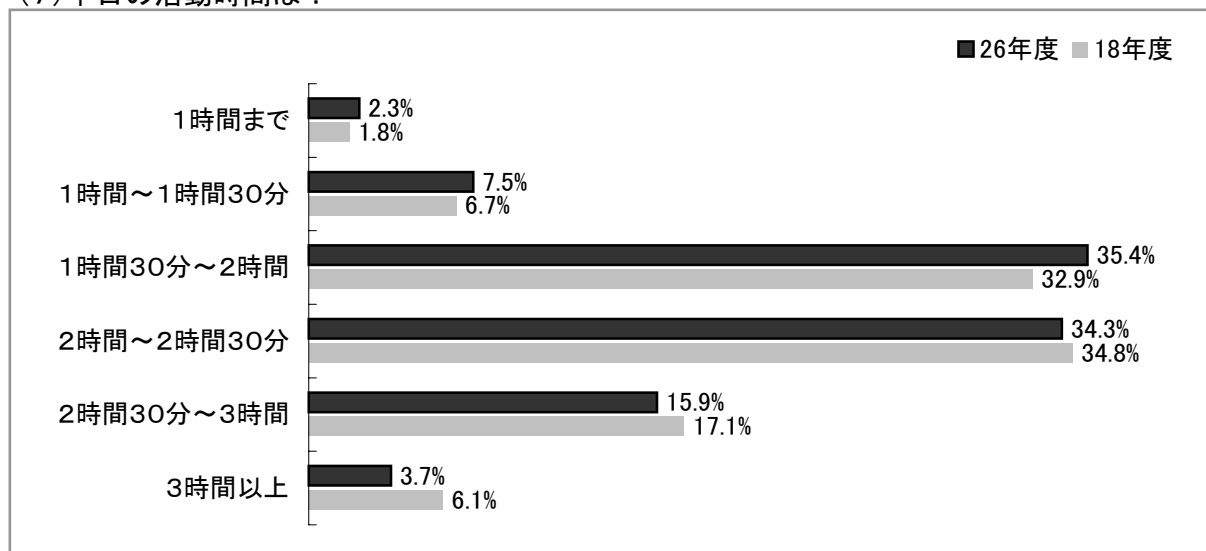
(5)入団させている理由は？(3つ以内で)

回答	18年度	26年度
子供が望むから	35.9%	29.9%
子供が心身共に成長するため	28.6%	25.2%
集団の中で礼儀を学ばせる	9.0%	14.3%
友人や仲間づくりのため	6.6%	8.9%
スポーツの楽しみを知るため	7.0%	8.3%
何かに自信をつけさせる	4.0%	6.0%
親も一緒に楽しめるから	3.3%	2.2%
余暇を有効に過ごさせたい	2.0%	2.0%
根性をつけさせるため	1.7%	1.7%
スポーツが上手になるため	1.7%	1.1%
子供の素行・非行対策のため	0.0%	0.2%
将来、スポーツ選手にさせるため	0.3%	0.1%
その他	2.0%	1.4%
合計	100.0%	100.0%

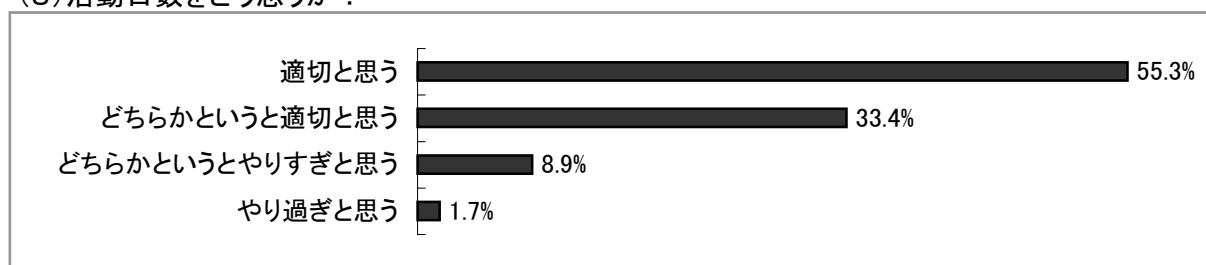
(6)1週間に活動する日数は？



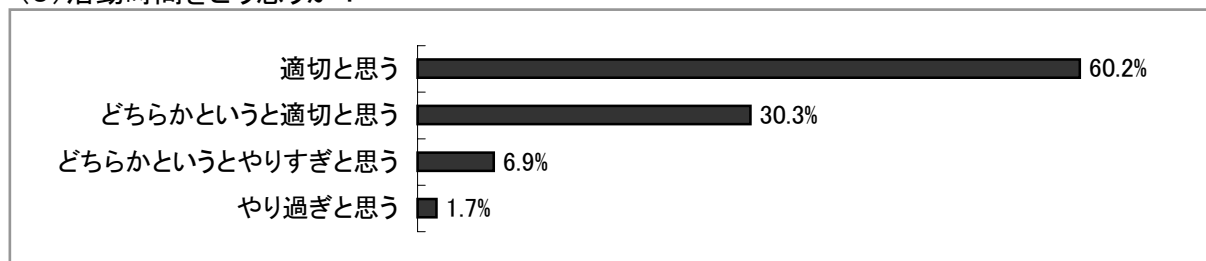
(7) 平日の活動時間は？



(8) 活動日数をどう思うか？



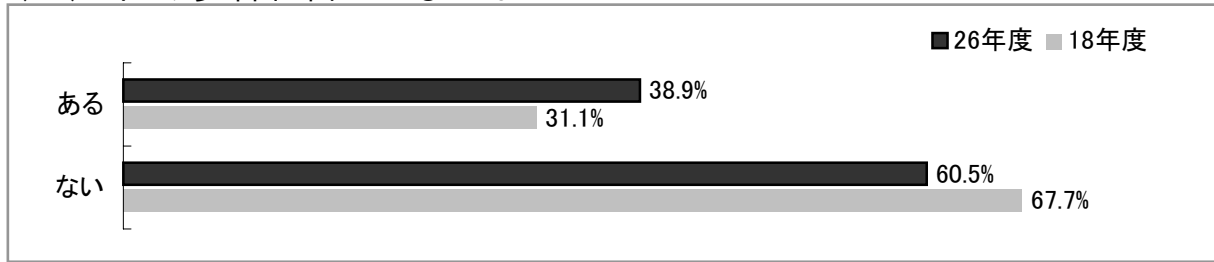
(9) 活動時間をどう思うか？



(10) 活動を通して、お子さんにどのような変化があるか？(3つ以内で)

回答	18年度	26年度
体力がついて丈夫になった	54.1%	34.7%
友人が増えた	14.5%	17.0%
スポーツの技術が向上した	11.3%	15.3%
礼儀正しくなった	8.2%	13.3%
我慢強くなった	1.9%	6.3%
生活面に積極性が出てきた	5.0%	5.4%
異年齢の子と遊ぶようになった	2.5%	4.6%
規則正しい生活ができるようになった	1.9%	1.8%
偏食せずに食べられるようになった	0.6%	1.7%
その他	1.9%	2.6%
合計	100.0%	100.0%

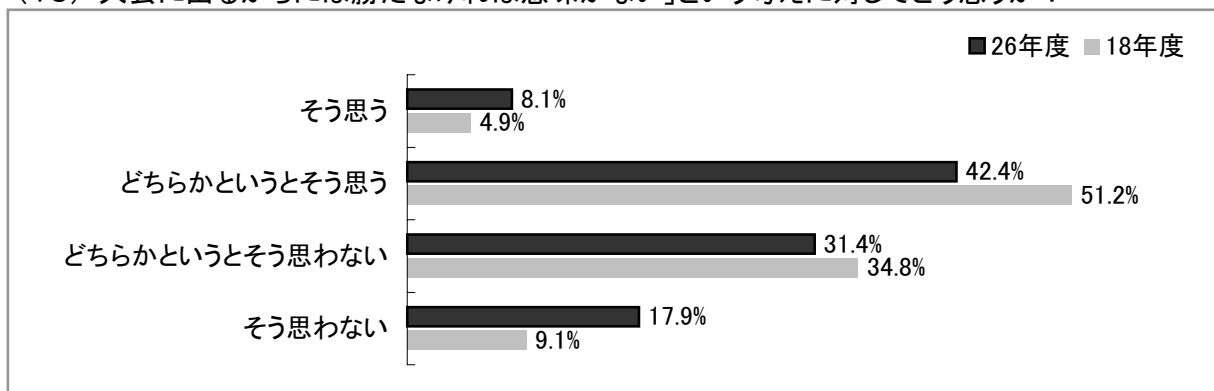
(11)スポーツ少年団で困っていることは？



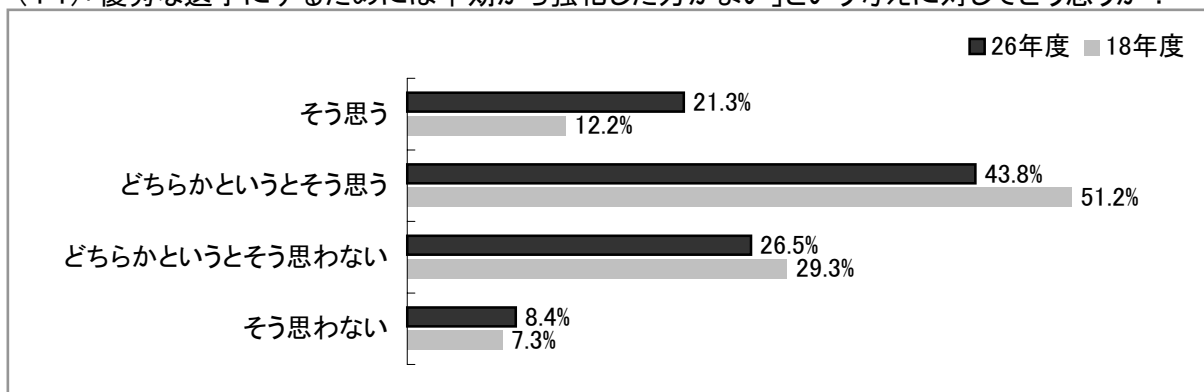
(12)(11)で「①ある」と答えたわけ(3つ以内で)

回答	18年度	26年度
送迎などの親の負担が大きい	23.3%	22.4%
帰宅時間が遅い	5.8%	11.4%
経費がかかりすぎる	8.7%	9.5%
試合数が多すぎる	3.9%	7.6%
練習や試合が多すぎて子供が疲れている	7.8%	6.8%
指導者がワンマンだ	5.8%	6.5%
家庭で過ごす時間が少なくなった	7.8%	6.1%
レギュラー重視の指導内容だ	4.9%	4.9%
勝つことにこだわりすぎ	6.8%	4.2%
スポーツに熱中しすぎて勉強がおろそかになる	6.8%	3.8%
保護者の飲食が多い	4.9%	3.4%
活動時間が長い	1.9%	3.0%
スポ少と塾や習い事の兼ね合いがうまくいかない	2.9%	2.7%
指導者の暴言や暴力がある	1.9%	2.7%
学校(教員)の理解がない	2.9%	2.7%
勉強が忙しすぎてスポーツ活動が十分にできない	1.9%	1.1%
子供の行動が粗野になった	0.0%	0.8%
いじめがあるようだ	1.9%	0.4%
子供がスポーツ障害(傷害)になった	0.0%	0.0%
その他	10.7%	6.5%
合計	100.0%	100.0%

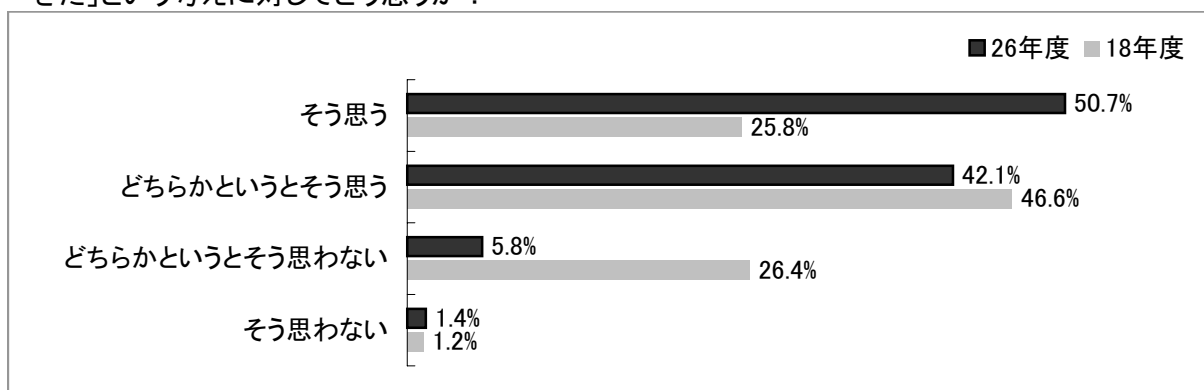
(13)「大会に出るからには勝たなければ意味がない」という考えに対してどう思うか？



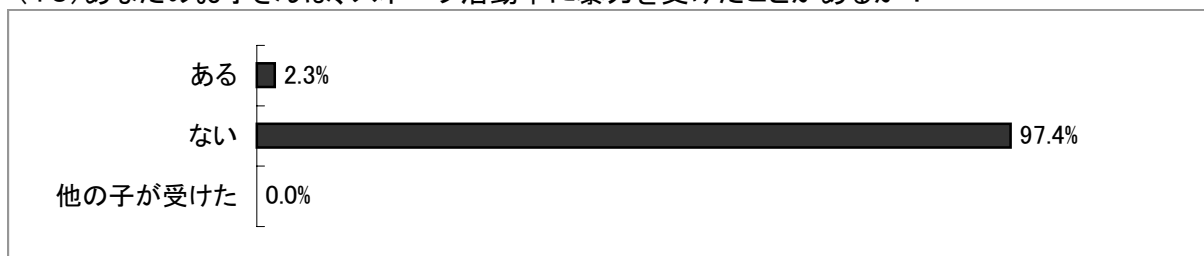
(14)「優秀な選手にするためには早期から強化した方がよい」という考えに対してどう思うか？



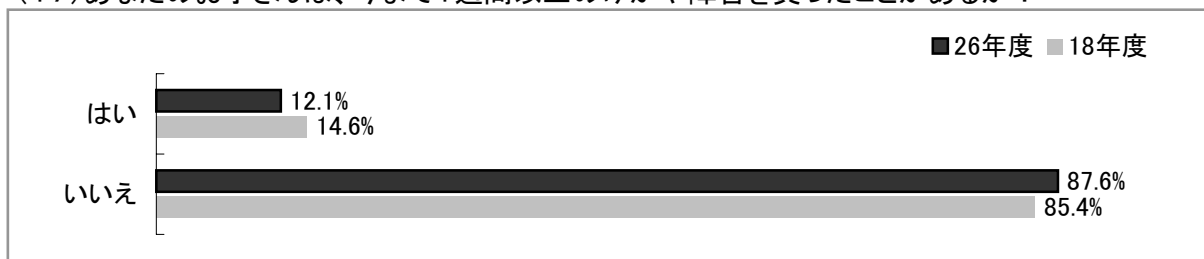
(15)「小学生期は、スポーツの楽しさや仲間とのふれあいを味わわせることを念頭に指導すべきだ」という考えに対してどう思うか？



(16)あなたのお子さんは、スポーツ活動中に暴力を受けたことがあるか？



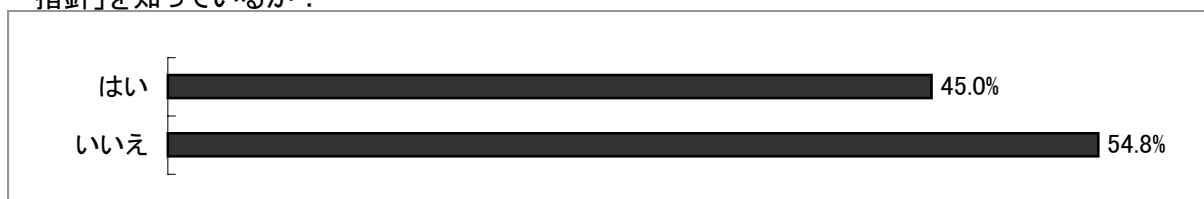
(17)あなたのお子さんは、今まで1週間以上のけがや障害を負ったことがあるか？



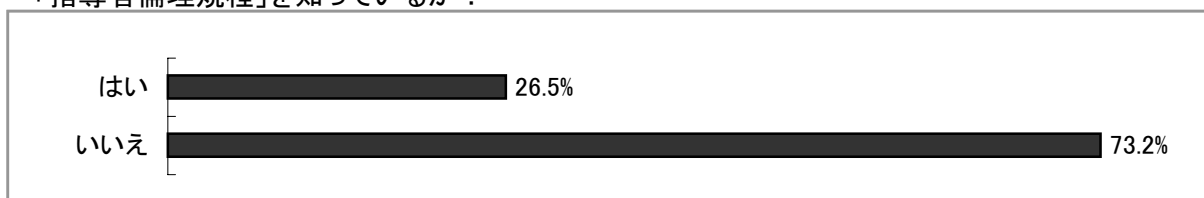
(18)(17)で「①はい」と答えた方で、けがや障害を負った部分は？

回答	18年度	26年度
手の指	9.3%	16.7%
足首	20.9%	16.7%
ひざ	4.7%	14.3%
ひじ	4.7%	11.9%
足	16.3%	11.9%
腰	4.7%	7.1%
腕	9.3%	7.1%
肩	7.0%	4.8%
頭	2.3%	2.4%
鼻	2.3%	2.4%
手首	7.0%	2.4%
目	2.3%	0.0%
耳	0.0%	0.0%
首	0.0%	0.0%
背中	0.0%	0.0%
足の指	7.0%	2.4%
その他	2.3%	0.0%
合計	100.0%	100.0%

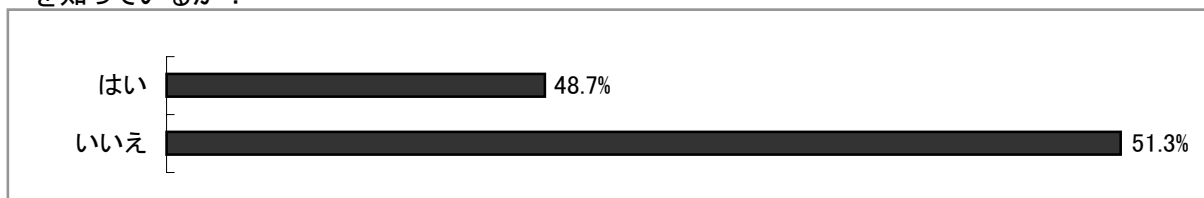
(19)あなたは、県スポーツ少年団が望ましい活動時間・活動日数等について定めた「団活動の指針」を知っているか？



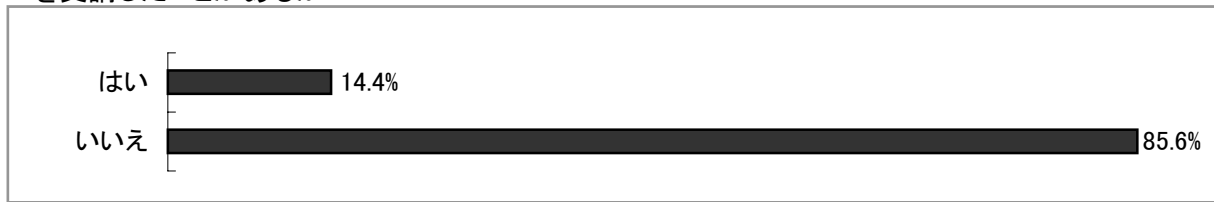
(20)あなたは、県スポーツ少年団が不祥事・信用失墜行為根絶やモラル向上のために定めた「指導者倫理規程」を知っているか？



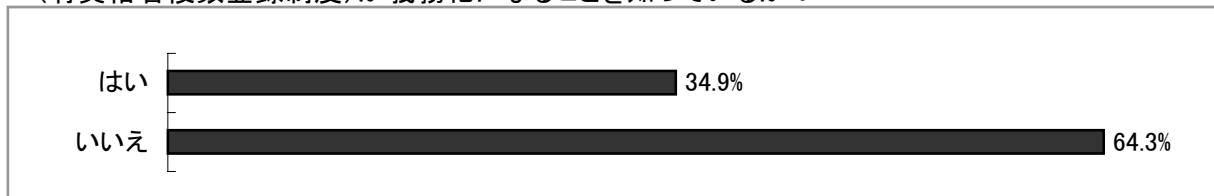
(21)あなたは、県スポーツ少年団が実施している「指導者等研究協議会」や「認定員等再研修会」を知っているか？



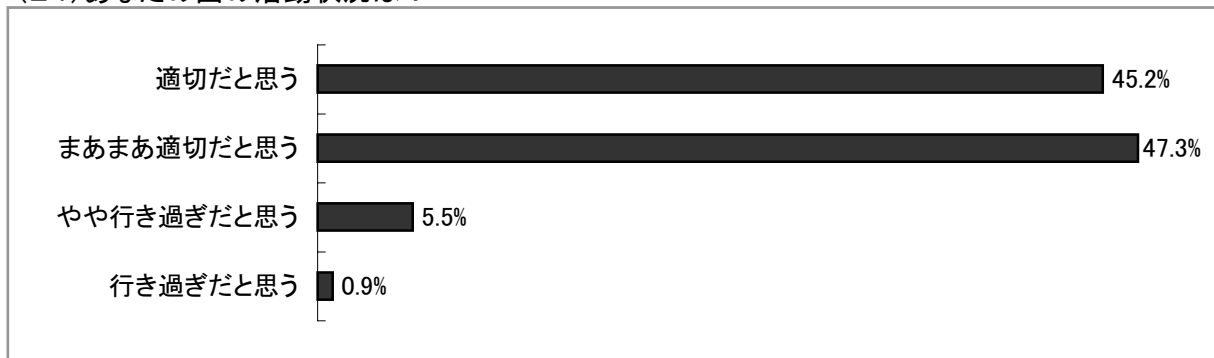
(22)あなたは、県スポーツ少年団が実施している「指導者等研究協議会」や「認定員等再研修会」を受講したことがあるか？



(23)あなたは、平成27年度から、一つの団で有資格指導者が複数登録しなければならない制度（有資格者複数登録制度）が義務化になることを知っているか？



(24)あなたの団の活動状況は？



## 指導者・保護者の自由記述（抜粋）

### Q 秋田県スポーツ少年団本部に、新たに取り組んでほしいこと

項目	具体的な内容
活動日数・時間・ 対外試合数	地域によって活動日数、活動時間に差がありすぎるので、是正してほしい。練習試合数・大会参加数を多くしすぎないように指導。行き過ぎた団や指導者に対する改善の要求。休日の活動休止日を設けてほしい。
指導者育成・確保	指導者を派遣・紹介するシステムを作ってほしい。地域の方が指導できる体制づくり。
指導者の資質向上	指導者同士が情報交換できる場がほしい。子どもに対する配慮のない言い方・暴言への指導。子どもとのコミュニケーションの取り方の指導。技術指導だけでなく、子どもの「しつけ」を含めた指導を行うように指導者に促してほしい。
指導プログラム	幼児や小学校低学年に様々な運動を体験させる取組。子どもたちの健康・発達を考えた練習。
指導体制	小・中・高の一貫指導体制の整備。優秀な子を伸ばすシステムづくり。競技を超えた交流会の実施。
団編成	原則として単一校でチーム編成しなければならないと規定している競技団体に、複数校でも編成できるように働きかけてほしい。子どもが少なく低学年の子も試合に出なければいけないので、少子化に伴った活動計画を考えてほしい。
保護者の意識改革	「保護者の心得」のようなものを作成・周知してほしい。
保護者負担	試合時の茶菓の準備、懇親会、合宿、指導者への謝礼等の是正指導。休みを取って練習につかなければいけないので、学校の協力がほしい。
情報発信・周知	ホームページやパンフレットを強化してほしい。大事に必要な情報を、スマホでも閲覧できるようにしてほしい。
その他	指導者、親、団員の全てに「礼儀」を高める指導を。リーダー育成キャンプはとてもよい取組なので継続してほしい。障害をもった子どもの受け入れを考慮してほしい。問題があったとき相談できる「相談窓口」があればよい。学業とスポ少活動の両立。



## V 考 察

---

少子化が進展する本県において、本調査は、県内市町村スポーツ少年団の指導者・団員・保護者を対象に、その活動実態を把握することによって、これからのスポーツ少年団活動の基盤強化及び活性化を図る方策の検討に資することを目的とした。

なお、結果の分析考察に当たっては、平成18年度調査結果と比較検討し、顕著な変化を浮かび上がらせることとした。

本調査の結果から、本県のスポーツ少年団活動の現状について、以下のような現状が明らかになった。

### 1 少子化による、団員の低年齢化

18年度調査時に、既に課題になっていた「団員減少」は、26年度になりさらに深刻になっていることが分かる。

指導者は、団運営の課題の一番に「入団者の減少」を挙げており、その割合は18年度に比べて8ポイント増えている。また、「学校団」が18年度時に比べて15.3ポイント減少しているのに対して、「地域団」が8.0ポイント上昇している。これは、単独の学校ではチームが組めないため、近隣の複数校による合同チームが増加したことを表している。今後、少子化が進展すれば、この傾向はますます加速していくものと思われる。

また、今回の調査で明らかになった少子化による最大の影響は、団員の「低年齢化の進展」である。特に、低年齢化が進んでいる団は、ミニバス、野球、バレーボールといった、球技のチームスポーツ団だということも明らかになった。

このことは、低学年団員を入団させないとチームが維持できなかつたり、大会に参加できなかつたりする団の現状を表している。今後、この傾向はさらに加速するものと思われるが、心身が未成熟な下学年団員が、上学年団員と同じ活動を行うことは、早期からのスポーツ障害の発生や燃え尽き症候群（バーンアウト）の出現につながりはしないかと、極めて憂慮される。

また、上学年児童の「スポ少離れ」の原因は、さらに精査が必要である。

いずれ、少子化・低年齢化に対応したスポーツ少年団活動の在り方の検討が、今後の大きな課題となる。

### 2 多い対外試合参加数

1週間あたりの活動日数や、平日の活動時間については、一部に逸脱している団はあるものの、おおむね「団活動の指針」に定めた適正な活動が行われていることが明らかになった。これは、県スポーツ少年団本部が平成19年に指針を定め、機会ある毎にスポーツ少年団活動の適正化・健全化を訴えてきたことや研修会を積み重ねてきたことの、一定の成果といえる。このことは大いに誇るべきことで、今後一層浸透を図りたい。

一方、年間の対外試合参加数については、「大会参加数」は18年度とさほど変わっていないものの、「練習試合の参加数」は、年間「21試合以上」の団が、18年度に比べて大幅に増えている。「21試合以上」活動している団は、ほぼミニバスと野球だった。

野球の団は、春から秋にかけてほぼ毎週のように対外試合に参加している状況がうかがえる。

また、今回調査で「スポーツ少年団活動で困ったこと」を聞いてみると、団員からは「疲れる」の声が増えている。休日の疲れを残したまま登校し、学校生活に影響を及ぼすとなれば、この回答は看過できないことである。また、保護者は「困ったこと」として、圧倒的に「送迎の負担」を挙げている。

これらの団員や保護者の「困り感」の多くは、煎じ詰めれば、休日における対外試合数の多さに起因していると考えられる。

今後、県スポーツ少年団が定めている「活動の指針」において、「対外試合の参加数」や「祝休日における活動休止日」といった内容追加に踏み込んで検討を加えることが、大きな課題となる。

### 3 完全には消えていない、スポーツ活動中の暴力行為

今回調査では、今、社会問題となっている「スポーツ活動中の暴力行為」について新たに設問を設けた。暴力行為の有無について、指導者・団員・保護者に聞いてみたところ、それぞれ9割以上は「暴力行為はない」と答えている。それ自体は、おおむね良好な状況といえる。しかし、少数ではあるが「ある」と答えている指導者・団員・保護者がいることは、見過ごしてはならない。

また、団員に「暴力があってもよいか」と聞いたところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」団員が4.9%、「暴力を使う指導者をどう思うか」と聞いたところ、「指導熱心だと思う」が10.4%と、暴力を肯定とまではいかないが、暴力を容認するともとれる回答があったことは、由々しき問題である。暴力容認の土壌は、幼少期から根こそぎ排除する必要がある。

また、自由記述では、暴力行為についての記述こそなかったものの、「指導者の暴言」や「保護者の理不尽な言動」を問題視する記述は、非常に多かった。

県スポーツ少年団では、暴力行為や暴言等の不祥事・信用失墜行為根絶のため、「指導者倫理規程」を定めているが、この認知度は、指導者が57.4%、保護者が26.5%にとどまっている。暴力・暴言等の根絶に向けて、この規程の周知及び暴力根絶研修会への参加促進等について、検討を加える必要がある。

## VI まとめ

本調査結果に基づき、今後の県内のスポーツ少年団活動の基盤強化及び活性化のために必要な事柄について、以下のとおり整理し、今後、方策の検討につなげたい。

本調査では、平成19年に「団活動の指針」を策定・施行するきっかけとなった「1週間の活動日数」「1日の活動時間」の課題については、おおむね指針の規程の範囲内で行われていることが明らかになった。このことは、指針の趣旨が定着してきていることを示しており、これまでの県スポーツ少年団の取組の一定の成果といえる。

一方、少子化による「団員の低年齢化」や「対外試合（練習試合）の増加」、「わずかながら存在する暴力行為」が、新たな課題として浮かび上がってきた。

このような中、秋田県スポーツ少年団として、次のような取組が必要と考える。

### 1 スポーツ少年団の将来像を検討するワーキンググループ（WG）の立ち上げ

本調査で明らかになった諸課題の解決に向けて、秋田県スポーツ少年団本部に「ワーキンググループ（以下、WG）」を立ち上げ、少子化に対応した本県スポーツ少年団の将来像を検討する必要がある。

WGは、本部長の諮問機関とし、総務部、指導育成部、活動開発部、広報普及部、指導者協議会運営委員会（指導協）から横断的にメンバーを招集し、少数精鋭で組織する。なお、WGには必要に応じて外部の有識者を加える。

WGは、本調査で明らかになった諸課題の解決に向けて、次の事項を検討する。

- ①日本スポーツ少年団の「第9次育成5カ年計画」をもとに、少子化の進展を視野に入れた、本県版マスタープラン（中・長期計画）の策定を検討する。
- ②低年齢化の拡大を視野に入れた、幼児期・小学校下学年期の発達段階に即したスポーツプログラム及び研修・普及事業の在り方を検討する。（日本スポーツ少年団本部が進める「アクティブチャイルドプログラム」等の活用検討）
- ③依然続く保護者負担及び団員の疲弊を改善するため、「団活動の指針」に对外試合参加数や休養日の規程の追加を検討する。
- ④勝利至上主義に陥ることなく適切な育成ができるよう競技団体、学校、総合型地域スポーツクラブ、地域の関係機関等との連携促進を検討する。
- ⑤暴力根絶に向け、「指導者倫理規程」の指導者・保護者への一層の周知方法及び暴力根絶キャンペーンの展開、暴力根絶のための研修会開催等を検討する。
- ⑥指導者・育成母集団の資質向上のため、指導者研修会（母集団研修会）の内容及び研修参加促進方策を検討する。
- ⑦市町村スポーツ少年団本部の基盤強化のための支援策を検討する。
- ⑧県スポーツ少年団事業・諸規程等のPR活動の充実強化について検討する。
- ⑨その他、必要と考えられる事項について検討する。

## VII おわりに

---

本県において、子どものスポーツ機会として、スポーツ少年団がこれまで地域社会で果たしてきた役割は、極めて大きいといえる。

本県は、全国トップの「学力」と同様に、本県児童生徒の「体力・運動能力」においても全国トップクラスである。この要因の一つには、スポーツ少年団や部活動などに加入して、日常的にスポーツ活動を行う子どもたちの割合が、他の都道府県に比べて極めて高いことが挙げられる。スポーツ少年団が、本県の子どもたちの体力・運動能力を下支えしていることは紛れもない事実であり、本県の子どもたちが、学力・体力とも高い水準でバランスよく成長していることは、素直に喜ぶたい。

しかし、社会情勢の急激な変化の中、子どもたちのスポーツ環境も大きく変化している。とりわけ、少子高齢化が日本一加速している本県においては、本調査により、各単位団が「少子化の影響」を少なからず受けていることが明らかになった。

こうした中、秋田県スポーツ少年団としては、本調査結果を生かしながら、スポーツ少年団の将来像を検討することが喫緊の課題となる。本調査が、新たな50年の歩を進めるための一助となれば幸いである。

おわりに、本アンケート調査に御協力いただいた皆様に、深く感謝申し上げます。

## VIII 資 料

### 平成26年度秋田県スポーツ少年団アンケート調査実施要項

#### 1 アンケート調査の目的

秋田県スポーツ少年団は、昨年度創立50周年の節目を迎えたが、新たな50年のスタートとなる今年度、今一度本県の各スポーツ少年団の活動実態・傾向等を明らかにし、一層の望ましいスポーツ少年団活動構築の基礎資料に資するため、団員・指導者・保護者対象のアンケート調査を実施する。

#### 2 アンケート調査の対象者

県内各スポーツ少年団から抽出された、団員（1,000人程度）、指導者（500人程度）、保護者（500人程度）を対象を行う。

#### 3 アンケートの内容

- (1) 無記名アンケートとする。
- (2) 平成18年度に実施したアンケート結果と比較検討できるように、18年度の質問項目を基本とし、今日的な課題(暴力、少子化、低年齢化等)についての質問も加える。

#### 4 アンケートの実施期間

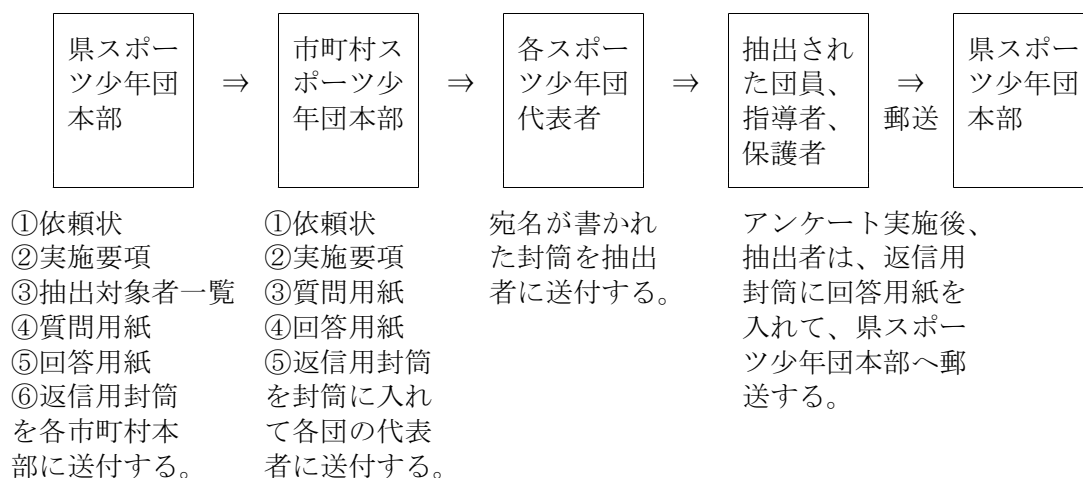
10月20日(月)～11月14日(金)

※回答用紙の送付締め切りを、11月14日(金)までとする。

#### 5 アンケートの送付・回収方法

- (1) 秋田県スポーツ少年団本部事務局は、各市町村スポーツ少年団本部事務局へ、①依頼状、②実施要項、③抽出対象者一覧、④質問用紙(団員用：ピンク、指導者用：水色、保護者用：黄色)、⑤回答用紙、⑥返信用封筒の6点を送付する。
- (2) 各市町村スポーツ少年団本部事務局は、各単位スポーツ少年団の代表者へ、①依頼状、②実施要項、③アンケート用紙、④回答用紙、⑤返信用封筒の5点を、必ず封筒に入れて送付する。  
各市町村スポーツ少年団事務局は、「抽出対象者一覧」をもとに、封筒に必ず宛名を書き、関係のスポーツ少年団代表者に送付する。(宛名は、指導者には指導者名、団員及び保護者には「○○○○さんの保護者様」と記入して、代表者に送付する。)
- (3) 各スポーツ少年団の代表者は、宛名が書かれた封筒を対象者に送付する。
- (4) 抽出された団員、指導者、保護者は、アンケート実施後、返信用封筒(料金後納郵便)に回答用紙を入れて、11月14日(金)までに秋田県スポーツ少年団本部に郵送する。

#### 〈アンケートの送付・回収フロー〉



#### 6 問い合わせ先

秋田県スポーツ少年団事務局(担当：富樫、二階堂)

電 話 018-866-3916

FAX 018-864-5752

## 平成26年度秋田県スポーツ少年団「指導者」アンケート(調査票)

このアンケートは、日頃スポーツ少年団を指導してくださっている指導者の皆さんの思いや考えを調査し、今後、一層望ましいスポーツ少年団活動を構築するための一助として行うものです。

データは統計的に処理され、個人名等が公表されることはありません。自分自身の考えで、ご忌憚のないご意見をお聞かせください。

回答方法：各質問に対する回答を選んで、その番号を回答用紙にご記入ください。  
その他の場合は、回答欄に具体的にお書きください。

- (1) あなたの地域は？ ①鹿角市・鹿角郡 ②大館市・北秋田市・北秋田郡  
③能代市・山本郡 ④男鹿市・潟上市・南秋田郡  
⑤秋田市 ⑥由利本荘市・にかほ市 ⑦大仙市・仙北市・仙北郡  
⑧横手市 ⑨湯沢市・雄勝郡
- (2) あなたの性別は？ ① 男 ② 女
- (3) 年齢は？ ①20代 ②30代 ③40代 ④50代  
⑤60代 ⑥70代以上
- (4) 指導している種目は？(複数回答可)  
①剣道 ②水泳 ③バレーボール  
④ハンドボール ⑤柔道 ⑥サッカー  
⑦スキー ⑧バスケットボール ⑨テニス  
⑩なぎなた ⑪卓球 ⑫軟式野球  
⑬バドミントン ⑭陸上競技 ⑮相撲  
⑯空手道 ⑰少林寺拳法 ⑱その他 [ ]
- (5) 指導の対象は？ ①3歳以下 ②園児 ③小学校下学年  
④小学校上学年 ⑤中学生 ⑥高校生  
⑦大学生・専門学校生 ⑧その他 [ ]
- (6) 団の形態は？ ①学校団 ②地域団 ③施設団  
④クラブ団 ⑤その他 [ ]
- (7) 指導経験年数は？ ①3年未満 ②3年以上5年未満 ③5年以上10年未満  
④10年以上
- (8) 指導のきっかけは？(複数回答可)  
①過去の自分の経験を生かす ②身体を動かすことが好き  
③指導するのが好き ④スポーツを自分自身でやってみたい  
⑤子どもが好きだから ⑥押しつけられて仕方なく  
⑦第三者に頼まれて ⑧地域・社会奉仕のため  
⑨自分の子どもがその団に入団したから ⑩その他 [ ]
- (9) 指導場所は？ ①公共体育施設 ②学校体育施設  
③民間体育施設 ④その他 [ ]
- (10) 指導場所までの交通手段は？  
①徒歩 ②自家用車 ③バス  
④自転車 ⑤その他 [ ]

(11) 団活動が活発なシーズンは？（複数回答可）

- ①春 ②夏 ③秋 ④冬 ⑤1年中

(12) 1週間に活動する日数は？

- ①週1日 ②週2日 ③週3日 ④週4日 ⑤週5日  
⑥週6日 ⑦週7日

(13) 平日の活動時間は？

- ①1時間未満 ②1時間以上～1時間30分未満  
③1時間30分以上～2時間未満 ④2時間以上～2時間30分未満  
⑤2時間30分以上～3時間未満 ⑥3時間以上～

(14) 休日の活動時間は？

- ①1時間未満 ②1時間以上～1時間30分未満  
③1時間30分以上～2時間未満 ④2時間以上～2時間30分未満  
⑤2時間30分以上～3時間未満 ⑥3時間以上～3時間30分未満  
⑦3時間30分以上～4時間未満 ⑧4時間以上

(15) 年間の大会参加数は？

- ①参加しない ②1～3回 ③4～6回  
④7～9回 ⑤10回以上

(16) 年間の練習試合数は？

- ①参加しない ②1～5回 ③6～10回  
④11～15回 ⑤16～20回 ⑥21回以上

(17) 指導者としての目標は？（複数回答可）

- ①チームワークなど協調性や社会性を身につけさせる  
②スポーツの楽しさを経験させる  
③基本的な生活習慣を身につけさせる  
④スポーツの技術を習得させる  
⑤スポーツを通じて子どもを心身共に成長させる  
⑥優秀な選手を育成する  
⑦余暇を効果的に活用させる  
⑧各種大会や試合に出て勝たせること  
⑨けがや事故がないように安全面に配慮する  
⑩その他 [ ]

(18) 具体的指導方法は？（複数回答可）

- ①指導計画を考えて  
②自身の経験やカンに頼った  
③基礎的・基本的技術を重点的に  
④遊びやゲーム的要素を取り入れている  
⑤試合数や活動時間が多すぎないように  
⑥楽しく活動できるような雰囲気を作る  
⑦年齢差、個人差、発達段階を考えて  
⑧子どもの考えを取り入れて  
⑨子どもの考えより、自分の指導方針を優先して  
⑩栄養面について  
⑪ルールとかマナー、与えられた役割をきちんとわからせるよう  
⑫根性論や精神主義に基づいた  
⑬子どもの体調をよく観察し  
⑭厳しく叱咤し  
⑮その他 [ ]

(19) 現在あるいは今後の指導の課題は？（複数回答可）

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| ①指導者の負担軽減   | ②指導者の不足          |
| ③施設・設備の確保   | ④入団者の減少          |
| ⑤活動予算の不足    | ⑥指導者の指導不足        |
| ⑦保護者の期待が過熱  | ⑧児童・生徒の塾や習い事との関連 |
| ⑨保護者の無理解    | ⑩指導者の意識の加熱       |
| ⑪学校の無理解     | ⑫児童・生徒の素行面       |
| ⑬地域住民の意識の加熱 | ⑭中学校・高校の部活動との関連  |
| ⑮ほかのスポ少との関連 | ⑯指導者間の人間関係       |
| ⑰自分の仕事が忙しい  | ⑱指導者の高齢化         |
| ⑲その他 [      | ]                |

(20) 「大会に出るからには勝たなければ意味がない」という考えに対してどう思うか？

- |               |             |
|---------------|-------------|
| ①そう思う         | ②どちらかというと思う |
| ③どちらかというと思わない | ④そう思わない     |

(21) 「優秀な選手にするためには早期から強化した方がよい」という考えに対してどう思うか？

- |               |             |
|---------------|-------------|
| ①そう思う         | ②どちらかというと思う |
| ③どちらかというと思わない | ④そう思わない     |

(22) 「小学生期は、スポーツの楽しさや仲間とのふれあいを味わわせることを念頭に指導すべきだ」という考えに対してどう思うか？

- |               |             |
|---------------|-------------|
| ①そう思う         | ②どちらかというと思う |
| ③どちらかというと思わない | ④そう思わない     |

(23) あなたは、スポーツ指導中に子どもたちに暴力を振るったことがあるか？

- |     |      |                |
|-----|------|----------------|
| ①はい | ②いいえ | ③他の指導者が暴力を振るった |
|-----|------|----------------|

(24) あなたは、県スポーツ少年団が望ましい活動時間・活動日数等について定めた「団活動の指針」を知っているか？

- |     |      |
|-----|------|
| ①はい | ②いいえ |
|-----|------|

(25) あなたは、県スポーツ少年団が不祥事・信用失墜行為根絶のために定めた「指導者倫理規程」を知っているか？

- |     |      |
|-----|------|
| ①はい | ②いいえ |
|-----|------|

(26) あなたは、県スポーツ少年団が実施している「指導者研究協議会」や「認定員等再研修会」を知っているか？

- |     |      |
|-----|------|
| ①はい | ②いいえ |
|-----|------|

(27) あなたは、県スポーツ少年団が実施している「指導者研究協議会」や「認定員等再研修会」を受講したことがあるか？

- |     |      |
|-----|------|
| ①はい | ②いいえ |
|-----|------|

(28) あなたは、平成 27 年度から、一つの団で有資格指導者が複数登録しなければいけない制度(有資格者複数登録制度)が義務化になることを知っているか？

- |     |      |
|-----|------|
| ①はい | ②いいえ |
|-----|------|

(29) あなたの指導は？

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| ①適切だと思う           | ②どちらかといえば適切だと思う |
| ③どちらかといえば行き過ぎだと思う | ④行き過ぎだと思う       |

ご協力ありがとうございました



## 平成26年度秋田県スポーツ少年団「団員」アンケート(調査票)

このアンケートは、スポーツ少年団に入団しているみなさんが、よりよく活動できるようにするために、みなさんの思いや考えなどを知るために行うものです。皆さんが書いてくれたひみつは、必ず守りますので、正直に自分の考えを書いてください。(むずかしい場合には、お父さんやお母さんといっしょに書いてください。)

回答方法：各質問に対する答えを選んで、その番号を回答用紙に書いてください。  
その他の場合は、回答用紙にくわしく書いてください。

- (1) あなたの住んでいる地域は？
- ①鹿角市・鹿角郡      ②大館市・北秋田市・北秋田郡  
③能代市・山本郡      ④男鹿市・潟上市・南秋田郡  
⑤秋田市      ⑥由利本荘市・にかほ市      ⑦大仙市・仙北市・仙北郡  
⑧横手市      ⑨湯沢市・雄勝郡
- (2) あなたの性別は？    ① 男                      ② 女
- (3) あなたの学年は？
- ①小学校1年生      ②小学校2年生      ③小学校3年生  
④小学校4年生      ⑤小学校5年生      ⑥小学校6年生  
⑦中学校1年生      ⑧中学校2年生      ⑨中学校3年生
- (4) あなたが行っている種目は？(あてはまるものすべてを記入)
- ①剣道                      ②水泳                      ③バレーボール  
④ハンドボール      ⑤柔道                      ⑥サッカー  
⑦スキー                      ⑧バスケットボール      ⑨テニス  
⑩なぎなた                  ⑪卓球                      ⑫軟式野球  
⑬バドミントン      ⑭陸上競技                  ⑮相撲  
⑯空手道                      ⑰少林寺拳法  
⑱その他 [                      ]
- (5) スポーツ少年団に入ったわけは？(2つ以内で)
- ①そのスポーツが好きだから      ②友達や仲間を作りたい  
③体も心もたくましくなりたい      ④将来、スポーツ選手になりたい  
⑤試合にでて勝ちたい      ⑥父や母がすすめたから  
⑦友達といっしょに過ごしたい      ⑧学校の先生やコーチのすすめ  
⑨そのスポーツをやってみたい      ⑩空いている時間がある  
⑪気ばらし、楽しみのため      ⑫何事にも自信をつける  
⑬きまりや役割を守れる      ⑭兄や姉がやっていたから  
⑮実際の選手へのあこがれ      ⑯友達にさそわれて  
⑰大会で勝ちたい      ⑱中学や高校で部活をやりたいから  
⑲その他 [                      ]
- (6) 1週間の活動日数はどれくらい？
- ①週1日      ②週2日      ③週3日      ④週4日      ⑤週5日  
⑥週6日      ⑦週7日
- (7) ふだんの日の活動時間はどれくらい？
- ①1時間まで                      ②1時間～1時間30分  
③1時間30分～2時間      ④2時間～2時間30分  
⑤2時間30分～3時間      ⑥3時間～
- (8) 活動日数や時間についてどう思っているか？
- ①ちょうどよい                  ②まあまあよい  
③少しやりすぎ                  ④やり過ぎ

(9) 楽しいと感じているか？

- ①とても楽しい
- ②どちらかといえば楽しい
- ③どちらかといえば楽しくない
- ④全然楽しくない

(10) (9) で「とても楽しい」「どちらかといえば楽しい」と答えた人は、どんなときが楽しいか？  
(3つ以内で)

- ①試合に勝ったとき
- ②指導者にほめられたとき
- ③父や母にほめられたとき
- ④学校の先生にほめられたとき
- ⑤レギュラーになれたとき
- ⑥思い通りのプレーができたとき
- ⑦友達と仲良くできたとき
- ⑧汗をかいてすっきりしたとき
- ⑨うまくなったと感じたとき
- ⑩体力がついたと感じたとき
- ⑪たくさん食べられるようになったとき
- ⑫礼儀正しくなった
- ⑬我慢強くなった
- ⑭試合に出たとき
- ⑮練習以外の活動をするとき
- ⑯その他 [ ]

(11) (9) で「③どちらかといえば楽しくない」「④全然楽しくない」と答えた人は、そのわけは？  
わけ [ ]

(12) スポーツ少年団で、いやだと感じるときがあるか？

- ①ある
- ②ない

(13) (12) で「ある」と答えたわけは？ (3つ以内で)

- ①試合に負けたとき
- ②指導者にしかられたとき
- ③指導者が暴力をふるう
- ④勝つことにこだわりすぎる
- ⑤レギュラーになれない
- ⑥指導者がえこひいきする
- ⑦練習時間が長い
- ⑧練習時間が短い
- ⑨楽しくない
- ⑩家に帰る時間が遅い
- ⑪いじめがある
- ⑫疲れる
- ⑬指導者がこわい
- ⑭関節や筋肉が痛い
- ⑮勉強の時間がない
- ⑯遊びの時間がない
- ⑰練習がきびしすぎる
- ⑱なかなかじょうずにならない
- ⑲友達と仲良くやれない
- ⑳その他 [ ]

(14) 1週間以上練習を休むようなけがをしたことがあったか？

- ①はい
- ②いいえ

(15) (14) で「はい」と答えた人は、どの部分をけがしたか？ (3つ以内で)

- ①頭
- ②目
- ③鼻
- ④耳
- ⑤首
- ⑥背中
- ⑦腰
- ⑧肩
- ⑨腕
- ⑩ひじ
- ⑪手首
- ⑫手の指
- ⑬足
- ⑭ひざ
- ⑮足首
- ⑯足の指
- ⑰その他 [ ]

(16) あなたは、指導者から暴力を受けたことがあるか？

- ①ある
- ②ない
- ③他の人が受けた

(17) スポーツの指導で、暴力はあってもよいと思うか？

- ①そう思う
- ②どちらかといえばそう思う
- ③どちらかといえばそう思わない
- ④そう思わない

(18) あなたは、暴力を使う指導者をどう思うか？

- ①尊敬できない
- ②人格をうたがう
- ③指導熱心だと思う
- ④何も思わない

ご協力ありがとうございました

## 平成26年度秋田県スポーツ少年団「保護者」アンケート(調査票)

このアンケートは、スポーツ少年団に入団しているお子さんを持つ保護者の皆さんの思いや考えを調査し、今後、一層望ましいスポーツ少年団活動を構築するための一助として行うものです。  
データは統計的に処理され、個人名等が公表されることはありません。自分自身の考えで、ご忌憚のないご意見をお聞かせください。

回答方法：各質問に対する回答を選んで、その番号を回答用紙にご記入ください。  
その他の場合は、回答欄に具体的にお書きください。

- (1) あなたの地域は？ ①鹿角市・鹿角郡 ②大館市・北秋田市・北秋田郡  
③能代市・山本郡 ④男鹿市・潟上市・南秋田郡  
⑤秋田市 ⑥由利本荘市・にかほ市 ⑦大仙市・仙北市・仙北郡  
⑧横手市 ⑨湯沢市・雄勝郡
- (2) あなたの性別は？ ① 男 ② 女
- (3) あなたの年齢は？ ①20代 ②30代 ③40代 ④50代  
⑤60代 ⑥70代以上
- (4) お子さんの種目は？(複数回答可)  
①剣道 ②水泳 ③バレーボール  
④ハンドボール ⑤柔道 ⑥サッカー  
⑦スキー ⑧バスケットボール ⑨テニス  
⑩なぎなた ⑪卓球 ⑫軟式野球  
⑬バドミントン ⑭陸上競技 ⑮相撲  
⑯空手道 ⑰少林寺拳法 ⑱その他 [ ]
- (5) 入団させている理由は？(3つ以内で)  
①子どもが望むから ②子どもが心身共に成長するため  
③友人や仲間づくりのため ④スポーツの楽しみを知るため  
⑤根性をつけさせるため ⑥将来、スポーツ選手にさせるため  
⑦集団の中で礼儀を学ばせる ⑧何か自信をつけさせる  
⑨余暇を有効に過ごさせたい ⑩スポーツが上手になるため  
⑪親も一緒に楽しめるから ⑫子どもの素行・非行対策のため  
⑬その他 [ ]
- (6) 1週間に活動する日数は？  
①週1日 ②週2日 ③週3日 ④週4日 ⑤週5日  
⑥週6日 ⑦週7日
- (7) 平日の活動時間は？  
①1時間まで ②1時間～1時間30分  
③1時間30分～2時間 ④2時間～2時間30分  
⑤2時間30分～3時間 ⑥3時間～
- (8) 活動日数をどう思うか？  
①適切と思う ②どちらかという適切と思う  
③どちらかというやりすぎと思う ④やりすぎと思う
- (9) 活動時間をどう思うか？  
①適切と思う ②どちらかという適切と思う  
③どちらかというやりすぎと思う ④やりすぎと思う

- (10) 活動を通して、お子さんにどのような変化があるか？
- ①体力が付いて丈夫になった ②礼儀正しくなった  
 ③友人が増えた  
 ④規則正しい生活ができるようになった  
 ⑤スポーツの技術が向上した ⑥生活面に積極性ができた  
 ⑦我慢強くなった  
 ⑧偏食せずに食べられるようになった  
 ⑨異年齢の子と遊ぶようになった  
 ⑩その他 [                    ]
- (11) スポ少で困っていることは？
- ①ある ②ない
- (12) (11) で「ある」と答えたわけ(3つ以内で)
- ①経費がかかりすぎる ②試合数が多すぎる  
 ③指導者がワンマンだ ④勝つことにこだわりすぎ  
 ⑤レギュラー重視の指導内容だ ⑥活動時間が長い  
 ⑦学校(教員)の理解がない ⑧送迎などの親の負担が大きい  
 ⑨帰宅時間が遅い ⑩いじめがあるようだ  
 ⑪子どもの行動が粗野になった ⑫家庭で過ごす時間が少なくなった  
 ⑬保護者の飲食が多い ⑭指導者の暴言や暴力がある  
 ⑮スポーツに熱中しすぎて勉強がおろそかになる  
 ⑯勉強が忙しすぎてスポーツ活動が十分にできない  
 ⑰スポ少と塾や習い事との兼ね合いがうまくいかない  
 ⑱練習や試合が多すぎて子どもが疲れている  
 ⑲子どもがスポーツ障害(傷害)になった  
 ⑳その他 [                    ]
- (13) 「大会に出るからには勝たなければ意味がない」という考えに対してどう思うか？
- ①そう思う ②どちらかというと思う  
 ③どちらかというと思わない ④そう思わない
- (14) 「優秀な選手にするためには早期から強化した方がよい」という考えに対してどう思うか？
- ①そう思う ②どちらかというと思う  
 ③どちらかというと思わない ④そう思わない
- (15) 「小学生期は、スポーツの楽しさや仲間とのふれあいを味わわせることを念頭に指導すべきだ」という考えに対してどう思うか？
- ①そう思う ②どちらかというと思う  
 ③どちらかというと思わない ④そう思わない
- (16) あなたのお子さんは、スポーツ活動中に暴力を受けたことがあるか？
- ①ある ②ない ③他の子が受けた
- (17) あなたのお子さんは、今まで1週間以上のけがや障害を負ったことがあるか？
- ①はい ②いいえ
- (18) (17) で「はい」と答えた方で、けがや障害を負った部分は？
- ①頭 ②目 ③鼻 ④耳 ⑤首 ⑥背中  
 ⑦腰 ⑧肩 ⑨腕 ⑩ひじ ⑪手首 ⑫手の指  
 ⑬足 ⑭ひざ ⑮足首 ⑯足の指 ⑰その他 [                    ]
- (19) あなたは、県スポーツ少年団が望ましい活動時間・活動日数等について定めた「団活動の指針」を知っているか？
- ①はい ②いいえ
- (20) あなたは、県スポーツ少年団が不祥事・信用失墜行為根絶やモラル向上のために定めた「指導者倫理規程」を知っているか？
- ①はい ②いいえ

- (21) あなたは、県スポーツ少年団が実施している「指導者等研究協議会」や「認定員等再研修会」を知っているか？  
①はい ②いいえ
- (22) あなたは、県スポーツ少年団が実施している「指導者等研究協議会」や「認定員等再研修会」を受講したことがあるか？  
①はい ②いいえ
- (23) あなたは、平成 27 年度から、一つの団で有資格指導者が複数登録しなければならない制度(有資格者複数登録制度)が義務化になることを知っているか？  
①はい ②いいえ
- (24) あなたの団の活動状況は？  
①適切だと思う ②まあまあ適切だと思う  
③やや行き過ぎだと思う ④行き過ぎだと思う

ご協力ありがとうございました

---

---

## 平成26年度秋田県スポーツ少年団アンケート報告書

平成27年4月発行

編集・発行者 (公財)秋田県体育協会 秋田県スポーツ少年団  
〒010-0974 秋田市八橋運動公園 1-5 秋田県スポーツ科学センター内  
TEL 018-866-3916 FAX 018-864-5752  
E-mail shonendan2-akitaken@japan-sports.or.jp  
URL [http://www.akitaikyo.or.jp/index\\_ssn.html](http://www.akitaikyo.or.jp/index_ssn.html)

---

---